各種社會問題之研究

滿洲之社會

十月號

第參卷第貳號

滿洲社會事業研究會

南滿洲鐵道株式會社

鐵道

營業哩數（滿洲線 六八六哩 朝鮮線 一、一二哩

當社線主要驛と內地支那鐵道主要驛と鮮滿支間往復、週遊、巡遊のため船車連絡割引の便宜あり

埠頭及倉庫

大連、營口、安東、上海の各地には埠頭の設備と共に一般倉庫業をも營む

直營旅館

朝鮮

京城、朝鮮ホテル

釜山 新義州 停車場ホテル

金剛山、長安寺及避暑ホテル（自六月至十月）溫井里

滿洲

ヤマトホテル

大連、旅順

奉天、長春

大連市外星ヶ浦

本社 滿洲大連市東公園町

支社 東京市麴町區永樂町丸ノ內ビルデング內

鮮滿案內所（東京支社、大阪、下關）

石炭

撫順炭は各種工業用炭竝船焚料炭として燃料界に雄飛し煙臺炭は無煙にして亦諸種の用途に使用せられ滿洲朝鮮は素より海外各地に於て顧客の需要に應ずる準備を有す

電氣及瓦斯

大連撫順に電氣鐵道を又大連、奉天、長春、安東、撫順に電燈事業を經營す

大連、鞍山、撫順、奉天に瓦斯事業を經營す

製鐵所及試驗場

鞍山に製鐵事業を經營し銑鐵をも產す

公主嶺に農事試驗場ありて各種農產物及び緬羊の改良をなす

大連に窯業試驗工場を有し優良なる硝子器等を製す

本店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

支店　大連、青島、奉天、哈爾賓、京城、釜山、大邱、大田、木浦、元山、裡里、沙里院、平壤、

出張所　間島

東洋拓殖株式會社

大連支店

電話（長）七一四七番
　　（長）七一四九番
振替口座大連一九七八番
受信略號タイレン、トタク

奉天支店

電話（長）六五七番
　　（長）三九七番
振替口座大連一九六八番
受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生産物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金

満洲之社會＝第參卷第貳號（大正十三年十月發行）

資本金八千萬圓
積立金千百貳拾四萬圓

一般銀行業務、外國爲替並日本銀行代理店事務を取扱申候
尚銀勘定取引も精々御便宜に御取扱可申候

大連市西通二番地

朝鮮銀行大連支店

電話（代表番號八一〇一番 宿直室用五七三二番）
振替貯金大連一〇〇〇番

本店 京城

支店出張所

內地 東京、大阪東區及西區、神戸、下關
朝鮮 釜山、大邱、仁川、平壤、鎮南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
滿洲 旅順、營口、遼陽、奉天舊市街及新市街、鐵嶺、開原、鄭家屯、長春、四平街、吉林、安東縣、龍井村、哈爾賓、傅家甸
支那 上海、青島、天津、濟南
露領 浦潮、亞港、樺太
米國 紐育

右ノ外倫敦、巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

大連市濱町

滿洲船渠株式會社

本社營業所

大連市山縣通加藤ビルヂング内

電話五八五三番

旅順東鄉町

旅順工場

電話〔四一八〇番〕〔番〕

大連市濱町四十五號地

大連工場

電話〔長四七一〇番〕〔九六五番〕

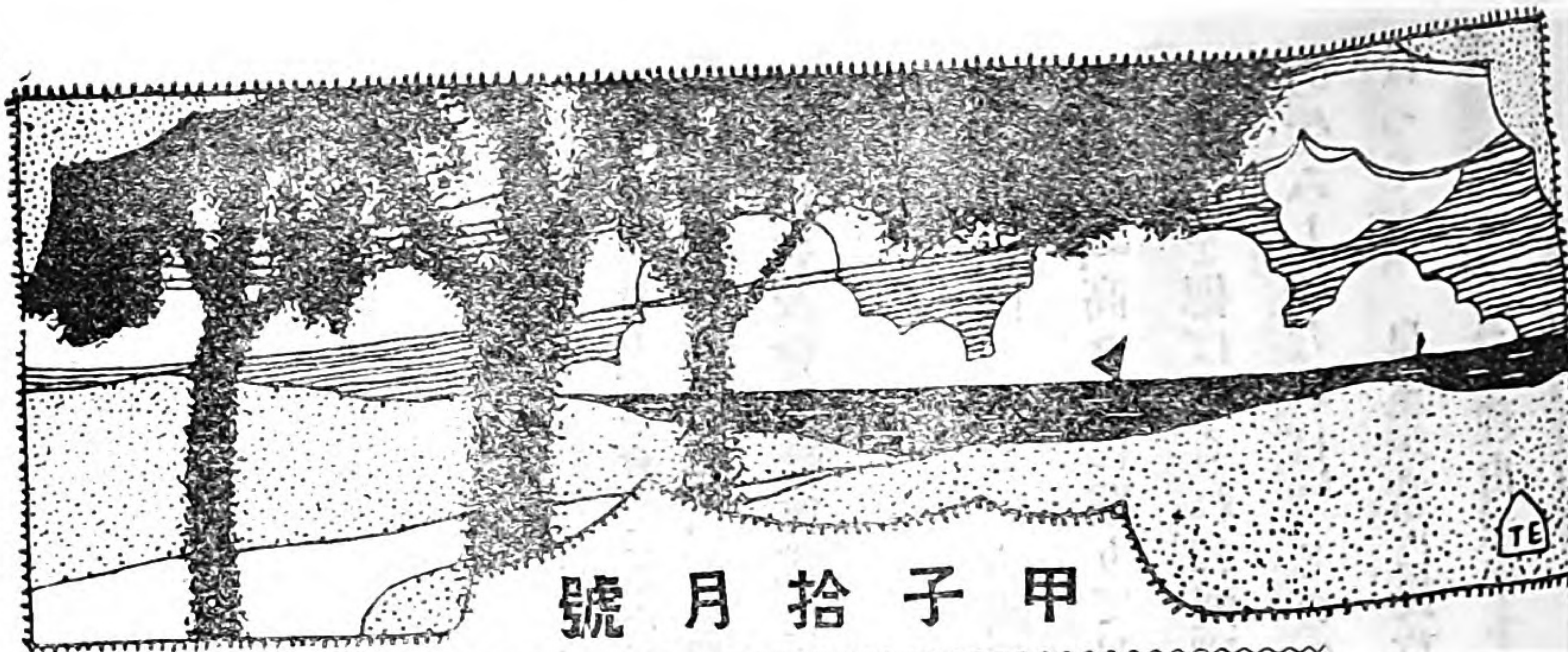
火災
海上
運送
保險

明治火災保險株式會社　千代田火災保險株式會社
東京火災保險株式會社　東京海上火災保險株式會社
日本火災保險株式會社　神戸海上運送火災保險株式會社
共同火災保險株式會社　大阪海上火災保險株式會社
橫濱火災海上保險株式會社　大正海上火災保險株式會社

代理店

三井物產株式會社
大連支店

大連市山縣通一八二號地
電話　代表番號七一〇一番



自治の精神

日本の自治行政には形骸成りて精神の宿らざるところ多し。之れも摸倣文明の一徴なるべきが、之がために自治行政の上に種々の疾患と弊害を發生せせしめ、而して自治行政を極めて不健康體のものとなしたるは、官僚及び政黨の罪として數ふべき點もあれど、要するに市町村民の選擧を誤れる罪その最も多きに居れり。市制の改易に依りて旅大兩市の自治行政も既に形だけは成りたれど、精神は未だ宿らず、精神を宿らすは十一月以後の事なり。

自治の精神の宿る處は言ふ迄もなく市會なり。市會に精神宿るも、其の精神にして清く正しからざれば、市會の惡化と共に市自治は汚され、其の形骸は抜殼同樣のものとならむ。而して市會を構成する市會議員を選擧するものは市民なるを以て、市民が其の選擧を正しくすると否らざるとは、市自治の精神を善化するか惡化するかの分岐點なり。若し夫れ市民が清き一票を濁れる一票とせば、市制に疾患と弊害を生ぜん事は、蓋し必至の勢ひのみ。

形骸の成れる自治行政に正しき精神を吹き込み、之を活ける自治とし、以て自治行政の面目を發揮するは、一に市町村民の責務なり。旅大市民は十一月の市會議員選擧を誤まるなかれ。若し此の第一歩を誤まらば、自治の精神の宿れる市會は野心家や策士の巣窟となり、疾患と弊害を滋生せしめ、折角の自治行政を不健康體のものと爲し終らしめむ。植民地の進步、都市行政の向上、都市公益事業の發達、斯くの如くにして奚ぞ夫れ望むべけんや。

皇道は則ち民衆道

山田芙峰

金子雪齋先生より皇位と皇室、皇道と國體に關する高敎を受け啓發するところ尠からず、然るに本文は之より前の八月二十三日大連劇場に於ける皇道普及會發會式に臨みて講演せる予の卑見にて、至らざるところ極めて多きも、今之を補修するの遑を有せざるを以て、暫らく當時の講演の儘を掲げ置く。他日機會を得ば心して修補する所あるべし。

皇道普及會の發會式に方り謹んで之を祝すると共に、少しく平生懷ふところの卑見を開陳して御靜聽を煩はしたいので有ります。私の演題は『皇道則ち民衆道』と出てありますが、皇室は民の父母、民は皇室の赤子、民は國の本といふ國體の上から申しても、また義は君臣、情は父子といふ皇道の上から申しても、仁德天皇の『高き屋に登りて見れば烟立つ民の竈は賑ひにけり』との御製を拜見しても、寒夜に御衣を脫して民の疾苦を偲ばせられた醍醐天皇の御事績に徵しても、明治大帝の『罪しあらば我を咎めよ天つ神、民は我身の生みし子なれば』との御製を拜誦致しても、毎年宮中において行はせらるゝ御歌會の御製並びに御歌を承はつても、皇室が常に民草たる我々臣民のことを深く御軫念遊ばさるゝことは明白で、其處に卽ち皇道は民衆道なりと云ふ理由が存ずるのであります。併しその民衆道は歐洲の民衆主義や、米國あたりのデモクラシーや、支那の『帝力我において何かあらむ』と云つた孟軻式の民衆思想とは固より異なつたところのもので

あります。此儀は大和民族たる我々國民の深く留意すべき點であります。

私は一昨年十月二十一日の天長節祝日當時、滿洲日日新聞紙上に『仰ぎ見る天日の光』と題する一文を掲載致しましたが、之れは天日に擬らへて皇道の本義を說いたもので有りますから、こゝに其の要點だけを摘い摘んで申上げます。我々人間には好奇心といふものがあつて、兎角奇なことを好み、平凡なことを嫌ひますが、其實大きな平凡ほど偉大なものはありません。太陽は大きな平凡、晴れたる空、凪ぎたる海も亦等しく大きな平凡であつて、それが取も直さず偉大なのであります。皇道は此の偉大なる天日の如く、また青空碧海の如くであつて、六合を包み、八紘を掩ひ、四隅に汎く德澤を及ぼすものであります。天の日は金殿玉樓にも、薪樵る賤が伏屋にも、藻鹽燒く蜑が苫屋にも、平等普遍にその光りを投げますが、皇道もまた其の通りでありまして、貴賤、貧富、老幼、男女の別なく謂ゆる一視同仁の惠みを垂れます。皇道則ち民衆道でなくて何でありましやう。萬古天皇を仰ぎ、萬世一系の皇室を奉戴する我が日の本の國は、實に王者の天地皇道の國であつて、同時に民衆道を一貫し來つた世界無比の國柄であります。

老子は無爲にして化すと申しましたが、大策は無策に似たり、桃李言はざるも下自ら蹊を成すで、皇道は特に作爲せず、工風せず、策動せずして自然と廣く大きく化を垂れます。こゝが皇道の尊いところで有ります。イソップ物語に太陽と風の神とが旅人の衣を脫がし合ふ比喩が載つてゐる。通行の或る旅人に對し、先づ風の神は風袋の口を開けて其の衣を脫がさうと一氣に風を送つたところ、旅人は手を以て襟や裾をしつか

りと押ねて脱がせませんでしたが、太陽がぢり〳〵と其の熱度を加へて行くと、旅人は熱い〳〵と言つて遂に衣を脱いで了つたと云ふことです。風の神は覇者であつて、强制的にやつた爲め、却つて旅人の反抗を招いだのでありますが、太陽は王者であつて、特に作爲せず、工風せず、自然にその力を加へたので、旅人をして遂に降參せしめたのであります。皇道とは此くの如きもので有ります。

昔は智仁勇と言ひましたが、實は仁智勇といふべきであつて、三種の神器たる八尺瓊勾玉は仁、八咫の鏡は智、草薙の劍は勇であります。皇道は此の三者を兼ね備ねて而かも仁を本體として居ります。東湖の申しました如く、發しては萬朶の櫻となり、凝つては百錬の鐵となるで、皇道は文ともなり武ともなり、而して文武その揆を一にして居ります。皇道より發する武は邪を破し、正を顯じ、そして眞の平和を齎らすのが目的でありまして、卽ちその用武は戈を止むるが爲めに外ならぬので有ります。日清戰爭も日露戰爭もさうでありました。之を外國流のミリタリズムと同一視するのは大きな間違ひであります。

爰に注意致したい一事は、何事も今日は科學的、組織的、規則的、機械的となりました結果、人と人との關係が中間に物を介して間接的となり、昔のやうに直接的でなくなつたことで、之がために萬事に人情味の露はれが非常に鈍くなつて參りました。我が皇道には最も大切な人類愛が多量に含まれて居りますから深く此點に注意したいのであります。先づ敎育について見まするに、昔の寺子屋は極めて單純なものであつた丈け、それ丈け、師と弟子との間には人情味が溢れ、師の人格が弟子に及ぼし、黌舍や塾や書籍よりも人と人

その關係の方が密接して居りましたが、今日の敎育は敎育制度の下に複雜な組織を作つてやつて居りますので、學校は立身のために學問をする處、先生又は敎師はノートを持つて敎ねる人、學生又は生徒は學費を出して敎はる人といふ風に考ね、何うしても其處に人情味の露はれが滿足でない事になります。人格敎育などは殆ど望まれぬ有樣です。斯んな處から學校騷動が起るのであります。商店に致しましても、昔は主人と番頭、小僧、丁稚の關係が主として直接に人と人との關係で繋がれて居りましたので、何處かに人情味がありましたが、今日の商店における主人と店員との關係は、使用人と被使用人、傭者と被傭者で、給料でもつて使ひつ使はれつゝある有樣ですから、非常に人情味が薄くなりました。會社又は銀行においても同樣であります。最も甚だしいのは工場における資本家又は事業主と勞働者との關係で、之れは全然賃銀といふ物件を中心にして居りまする爲め、双互の間は極めて冷やかで、意志も感情も疎通せず、事業主は事業主、勞働者は勞働者と、各自に別個の立場を作り、動もすれば則ち同盟罷業騷ぎが起るといふ狀態になりました。農村方面を見ましても、地主と小作人との關係は惡化し、小作爭議が頻繁に起る樣になりました。都市における家主と借家人との關係も同樣で、昔は家主をおほ屋、借家人を店子と稱し、謂ゆる温情なるものが自然と此間に存在して居りましたが、今はとてもそんな事は望まれません。

諸君は之を如何に觀られます乎。斯ういふ風になつたのは、歐米の物質文明を模倣した爲めで、またさうなるのは勢ひの已むを得ない所でありますが、義は君臣、情は父子といふ極めて人情的なる我が皇道の本義

から稽ねまして、此の風潮には大なる注意を要する事と存じます。世の中が斯うなればなる程、社會が複雜になり人事が多岐になればなる程、何事も之れから益々科學的、組織的、規則的、機械的になるのでありますが、それと同時に他の一面において精神文明の發達を圖り、倫理、道德、宗教、哲學、藝術等の振興に努め、更にこれを具體化した種々の救治策を行ふことが必要であります。

我が帝國には千早振る神代の昔から嚴乎として無窮不易の大道が立つてゐる。其の大道が卽ち皇道であります。皇道は總べての根源であつて、倫理道德も、宗教及び哲學も、將た藝術もこの根源に卽して始めて眞實のものとなり得るのであるが、科學的、組織的、規則的、機械的の作用が益々強くなり、それに伴れて利己心が增長し、人心が惡化するに對して、之が救治策を施す場合にも、一に皇道に卽して之を行ふことにせねばならぬので有ります。社會政策、社會事業はその救治策の重なるものであります。勞資間の爭議が激しくなれば、之れに對して勞働爭議調停法を發布し、その調停機關を設けるとか、家主と借家人との間に紛議が多くなれば、之れに對して借家爭議調停法を實施するとか、其他或は和議法を制定するとか、或は民事及び商事に關する一般的の爭ひを調停する手段を講ずるとか、何れも謂ふところの社會政策若くは社會政策的施設であつて、而も其の根源は皇道に卽し、且之れに依つて皇道則ち民衆道の大義を布くことになるのであります。皇室が常に社會問題の上に御注意遊ばされ、攝政宮殿下、同妃殿下が畏れ多くも勞働問題や社會事業に別して御注意深くあらせらるゝは、皇室を父母として戴く赤子たる我々臣民の感激に堪ねぬ次第であり

ます。外來の惡思想に對して皇道を宣布するのも當今の一急務であるが、それと同時に、精神文明の發達を圖り、物質文明より生ずる所の人心の惡化に對する具體的救治策、卽ち社會政策の運用、社會施設又は社會事業の遂行に努むることも、また我國における當今の一大急務であります。

横井小楠は『何ぞ富國に止まらん、何ぞ强兵に止まらん、大義を四海に布くべきのみ』と言つたが、皇道を闡明し、宏弘し、宣布し、普及することは、卽ち大義を四海に布く所以であります。之を古今に照らして謬らず、之を中外に施して悖らずで、皇道は行くとして可ならざるは莫しであるから、之れを中に施すと同時に、外に向つても亦之を施さねばなりません。大義を四海に布くのは我が皇國の本領であります。新領土たる臺灣における三百餘萬人の閩粤兩族、その約九萬人の生蕃人、朝鮮における一千七百餘萬人の新附民たる朝鮮人、北海道のアイヌ、樺太のギリヤーク、オロチヨン、南洋の土人、關東州及び滿洲の支那人並に蒙古の蒙古人等に對する植民政策も、大義を四海に布くといふ大見識を以て、一に蕩々坦々たる皇道に卽して之を行はねばならぬのであります。我が上古王朝時代においては南の隼人族、北の蝦夷族に對する討平綏撫に歷朝一方ならぬ苦心を嘗められ、朝鮮よりの歸化人に對しても、之が同化に並々ならぬ努力を拂はれましたが、今日の植民政策はつまり此の大義を外に布く所以のものであつて、恩威並行、寬猛兼濟、文武その揆を一にする所の皇道に卽すべきものであります。昔の和蘭、西班牙、葡萄牙等が海外に向つて行つた貴金屬攫得を目的としたコロニーゼーション、其後の植民國たる英吉利、佛蘭西、獨逸等が阿弗利加や中央亞細亞

や南洋又は印度等に施した自我的、強壓的、覇道的のコロニーゼーション、是等は我が皇道と相容れないものであります。日本の植民政策は斯くの如きものであつてはならぬので有ります。

大和魂とは何ぞや。私はこれを讀んで字の如く『大きく和らいだ心』と解釋します。大和民族たる我々日本人は、此の『大きく和らいだ心』を以て萬事萬般に當り、内に勉め、外に勵み、之を家庭、學校、社會の上に施し、之を以て隣人に對し、また之を以て他の總べてに臨むべきものであると思つて居ます。此の大和魂を政治、經濟、社會に施せば、下らぬ騷ぎの起る筈はありません。外來の思想を鵜呑みにしてそれに惡化される樣な虞れもありません。此の大和魂を萬事萬般の上に發揮することは、我々大和民族たる民衆の常に心して勗むべき要件であつて、それが則ち皇道の本義に適ひ、また皇道卽ち民衆道の要義にも合致する次第であります。植民政策上の謂ゆるアッシミレーションなるものも此の大義に則るべきものです。殊に海外に在る我々日本人は、居常深く此點に注意を拂ひ、如何なる異民族に對しても『大きく和らいだ心』を以て相交はり、相接し、謂ふところ大國民の態度を以て何處までも進まねばなりません。之れがまた皇道を普及し宣布し、闡明する所以であります。但し文武その揆を一にすると云ふ大本を忘れてはなりません。柔しくする許りが人情ではなく、怒るのも、叱るのも、等しく人情です。今や時局大いに變じ、人心もまた丕いに革まりました。能く大勢の趨ふところを察し、能く時代の實相に着眼し、單に口舌の上ばかりでなく、實際の上にも皇道則ち民衆道の本義を發揮し、萬事に善處したいものであります。

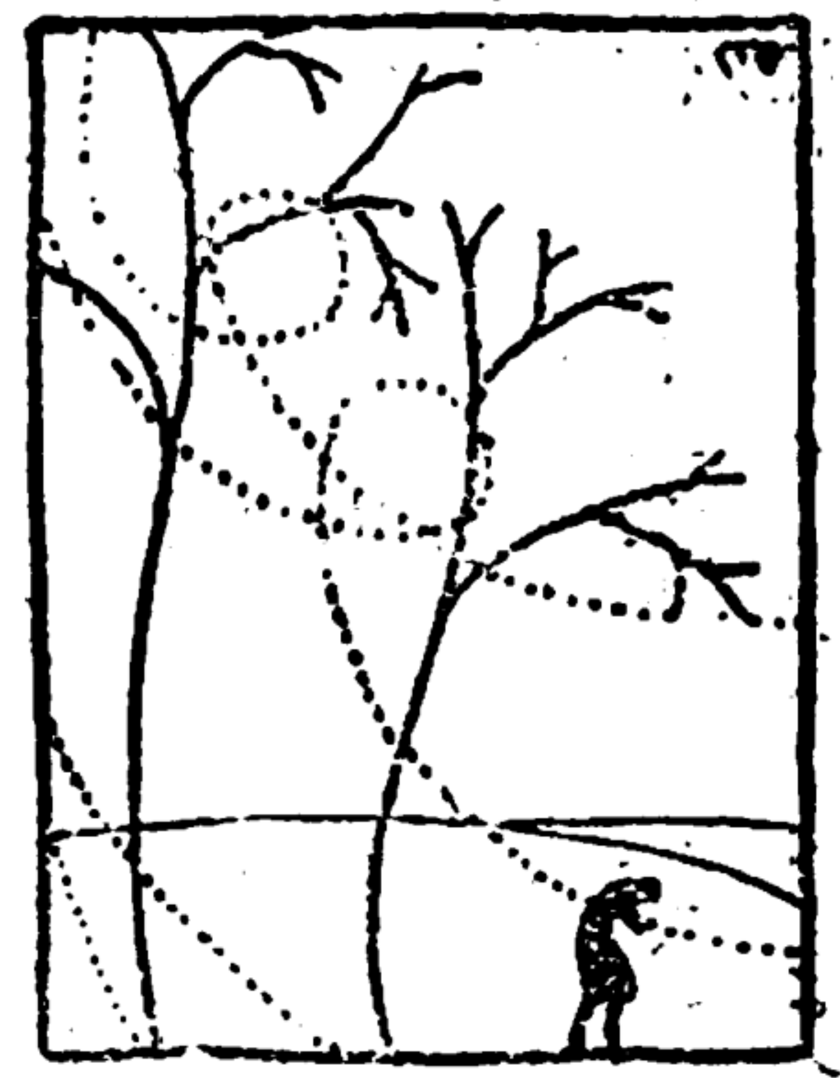
謬れる唯物觀

◉今日の社會主義者又は其の思想に感染した青年若くば勞働者の多くは總てを物質的に割り出して云爲する傾きがある◉下級勞働者は其日の生活にも困つて居るのだから何よりも先づ物質の滿足を得んと欲するは當然で從つて彼等の生活に對する物質慾が强いのもまた當然だ◉現代の農民に「夕顔棚の下涼み男はてゝら女は下布して」と云ふやうな普流の物質以外の精神的慰樂は望めまい◉併し唯物的社會主義に憧憬する結果として彼等の多數が金錢の多寡や貧富の如何にのみ着目して徒らに愛憎の念を高めるのは感心しない◉聞いて極樂見て地獄で大きな住宅に住ひ美衣美食して自動車を走らせるもの必ずしも幸福な生活をして居る譯ではない◉金錢が多くなると金錢に就いての惱みが起り物が殖ゐれば殖ゐるほど其の物に就いての惱みが增すもので富者必ずしも幸福な人とは言へない◉物質が餘りに貧弱でも困るが又餘りに豐富になつても好くない物質の豐富はそれより生ずる種々の惱みを人に與ゐる◉惱みを與ゐると共に心を驕らしめ荒ましめ餘程注意しないと大切な人格が惡くなる◉人は金錢が澤山あるから幸福だ物を多く持つて贅澤な生活をして居るから豪いと云ふ道理はない人格が第一である◉唯物的社會主義者や其の思想に感染した青年若くば勞働者は飜つて深く此點を考ゐるがいゝ身分相應の生活といふ處が一番適當なのだ◉物質的思想を以て徒らに他の富貴や權威を嫉むなかれ又咀ふなかれ而して身分相應の生活向上に努力する所あれ◉「一瓢の飲一簞の食肱を曲げて睡るも樂み亦その中に在り」と云つた顏回流の悟りは普通平凡の者には望まれないが貧富といふ事に餘り捉はれてはならぬ◉奢侈贅澤や榮燿榮華は一時の夢だ實を結ばぬ仇花か空華の樣なものだ开んな物にばかり慾氣を深くしてはならぬ◉それから貧富の懸隔や資本主義の弊は制度の罪で人の罪でないと云ふことを中流者や勞働者は篤と心に留めて置いて欲しい◉此點の理解力があれば富貴人を咀つたり彼等に暴力を加へたりして痛快がるやうな馬鹿げた事は能きない筈だ◉民衆敎育或は勞働者教育は是等の處にも深き注意を拂ふべきものと考ゐられる◉物質の豐富を誇る人も間違つて居るが之を敵視し呪咀して反感を高める者も亦間違つて居る。

貴族富豪

◆我國には華族がうぢや／＼出來そして富豪も殖ゑたが多くは因循姑息で其上吝ッ垂れと來てゐる◆同じ華族でも新華族の内には英氣もあり時務を理解し得る能力を有つた者もあるが舊華族の多數は頓とお話にならぬ◆彼等の大部分は古い封建思想の持主で偶々覇氣のあるものが有るかと思ふと貴族院を根城にして政權を爭奪せんとしたり利權を握らんとしたりする◆是等の點から云つても貴族院の改革は極めて必要な事である貴族院をして政權爭奪の渦中に投入せしむるは好くない事だ◆今日の華族殊に舊華族には昔の公卿のやうに「百敷の大宮人はいとまあれや櫻かざして今日も暮らしつ」と云つたやうな高等遊民若しくは有閑階級者が多い◆此の世智辛くなつた世の中に祖先傳來の世襲財產に依つて唯ぶら／＼遊んで居るといふ事が第一甚だ宜しくない◆英國の貴族の多くは同時に大地主で謂ゆる有閑階級者だが文化や藝術の上に相當貢献し學術の上にも間接に寄與する◆我國の華族にも多少さうした者もあらうが多くは是れ碌々爲すなき凡庸の高等遊民で其中にはまた貧乏華族もゐる◆德川覇府時代における京都の公卿には公卿の位倒れと云つて位階ばかり高くて金のない貧乏者もあつた彼等は楊子削りなどして謂ゆる公卿の內職をして僅かに其の生活を支ゑたものだ◆當時の是等貧乏公卿はそれでも體面といふ事を重んじたが今日の貧乏華族の中には苦しまぎれに利權漁りや刑法や民法に觸れた惡事を働く者がある◆彼等は啻に貴族の體面と名譽を毀損する不埒者である計りでなく併せて父祖の名譽を傷づくる此上もない馬鹿者である◆宇宙を丸呑みにし世界を家として居るやうな大谷光瑞さんは伯爵などいふ人爵を眼中に置かない人だけに現代の貴族仲間には當に傑出した人物だ◆その大谷さんは貴族及び富豪の海外移住奬勵論者で事に應じ時に觸れて獅子吼するが因循姑息で且吝ッ垂れ者の多い華族や富豪の神經には餘り響かない樣だ◆白髯を顋下に蓄ゑた元氣壯者を凌ぐ大連聖德會の宮崎如蛙翁も貴族利用論者で其說に曰く社會事業と植民事業とは華族の尻ッぺたを叩いて其の進行を圖るに若くはないと成程々々◆大いに贊成だが此奴なか／＼骨の折れる仕事だ先づ徐々に氣運を作つて否でも應でも動き出させる樣に仕向

けるの外あるまい◆如蛙翁の談に據れば貧乏華族は論外とし高等遊民たり有閑階級者たる華族を旨く利用すれば十億圓位な金は出來るとの事だ◆それ丈けの金が果して出來るなら社會事業も植民事業もウンと進歩するに相違ないが因循姑息な彼等を動かす事は並一通りの骨折りでは出來ない◆一時司法大臣になつた事のある岡部長職子は朝鮮に我が保護政の施かれたとき一家を擧げて朝鮮に移住すると言ひ出した◆華族には珍らしい奮發なので此事は當時の新聞紙を賑はしたが岡部ごん其實朝鮮に一寸往つた丈けで直ぐ引揚げた◆そして平壌附近から黄海道方面へかけて大きな土地を安く買ひ取り忽ち大地主となり岡部家の家來を後に殘して地代を取り立てると云ふ始末になつた◆彼の朝鮮移住はまつかな嘘でつまり斯んな出鱈目の法螺を吹いて朝鮮に乘込みそして貴族兼大地主となつたのだ◆偶々進取的英氣に富んだ者があるかと思ふと直ぐこんな眞似をして己れを太らす事をするので反貴族熱が高まるのだ◆小崎弘道翁曰く我國の富豪たる三井、三菱、安田、住友などは多少社會事業に竭して居ると承知するがまだ〲足りない◆それも國家のため社會のため當然竭すべきで有るといふ考ねからではなく世間が喧ましいから申譯的に金を出すといふ調子であつて甚だ面白くない◆總額約十億圓の富を作つた米國のカーネギー翁は死後その遺産の全部を殆んど全く社會事業の上に投じ遺族のために殘した資產は生前の富の百分の一位に過ぎなかつたので有る◆葬儀も極めて質素に營まれ墓石も一般人のと少しも變らない普通のもので之れがカ翁の墓かと思はれる位に貧弱なものだ◆我國の富豪にカ翁の三分一だけの精神があれば現時最も必要な社會事業は勿論文化事業も大いに進歩しますと◆洵にその通りだが何分にも我國の富豪には吝ッ垂れの利己主義者が多く時勢を察し時務を知る俊傑が居ないので困る◆其處になると海外に飛び出し脛一本腕一本で叩き上げた富豪の方に確かりした人物がゐる因循姑息でない丈でも本國内地の富豪よりは優つて居る◆奢侈贅澤の弊風を助長し遊惰安逸の亡國的氣風を煽り社會主義や共産主義の勢を唆るものは爲すなき貴族や富豪の徒である◆汝等先づ頑迷固陋の見を去れ然り而して政權爭奪や利權漁りに憂身を窶すことを罷めて國家並に社會の爲めに貢献せよ。



英佛獨の食糧政策

農商務書記官　入江魁

一、英吉利の食糧政策

我國の社會政策並びに其の施設の研究又は參考と爲すべき點甚だ尠なからざるやに思ひ予が昨十二年官命を帶びて視察調査せる歐洲諸國の食糧政策の一端を述べて見やう。歐米各國政府は戰時中に於て皆夫々必要な食糧政策を施して居たが、戰後の今日に於ては之を民間の自由に一任して居ると言つても可い。殊に英國の如きは輸入總數量の大半が殆ど食糧品を以て占めて居るが、此等の施設は悉く民間の手によつて爲されて居る。則ち民間においては產業組合と形式を同じうして而かも尙ほそれ以上に活動力を有する組合を組織し此の組合に於て購入した物を組合員に分配もすれば、又組合以外の者にも分配して居るのみならず、自國生產品の輸出をも取扱ひ、その利益は之れを組合員に分配して居るが、營業稅が課せられてない爲め他の商人より苦情が出で、遂に議會の問題となつたと云ふ情態である。

この組合はコルポレーション●アッソセーションと稱し、食糧品の購買及び販賣以外に、或は公園或は港灣の如き公共的事業にまでも手を染めて居る。食糧供給の場合には、組合自ら直接生產者より之を購入し、そして直接消費者へ販賣する結果、著るしく中間の收利を減殺して居る。換言すれば生產消費間における仲繼

人がない爲めに、物品を極めて廉價に消費者へ供給することが出來、我國の產業組合よりも一層發達した組合であると思はれた。斯くして組合は食糧の調節を圖り、大體に於て全國殆んど一定の値段を保つて居るが政府は前述の如く之に對して何等の關係をも有せず、全く民間の自治に委任してある。自國の食糧生產額は僅かに三割に過ぎず、他の七割は悉く海外よりの輸入に俟つと云ふのは、食糧政策上重大な問題であるに拘らず、英國政府は全部その調節を民間の組合に一任して居つて干涉しない。戰時中から存續して居た價格の制限の如きも、一九二二年八月之を撤廢したるのみならず、肉類、卵、ミルク等の如き原產地國名の記名を要すべきもの、例へばミルクの如きファットのないものは兒童の飲料に充つることが出來ないやうに制限を附し、尙ほ品質、脂肪、分量等をレッテルに記入しなければならぬと云ふ規定を出して居る位で、その以外の事は全部組合に一任し、政府は毫も干涉を加へない。從つて組合は一定の價格を以て販賣し得る次第である。而して此等組合の統轄は商業會議所の一部門によつて爲されて居る。

この種組合制度の最も發達し英國のそれよりも優れて居る處は丁抹國であつて、同國內の都市には生產者商人及び消費者等から成立つて居る組合があり、組合は一定の生產費を補ふに足る價格を補償して生產者から直接に物品を購入する。從つて生產者は市價の變動などを顧慮するの要なく、皆安心して生產に全力を傾注することが出來る。又組合が一般消費者へ販賣する場合には五パーセントまでの損失を補償することもある。則ち購入した價格よりも廉價に販賣する場合もある。家畜の生產品の如きは、家畜の數より之を論ずれば英國よりも少ないけれども、その生產品の輸出額に於ては世界の第一位を占め、且價格も低廉であるから何れの國も之と競爭することが出來ないといふ狀態であつて、要するにこれは一に組合制度の賚である。我國に取つても此事は大いに參考となるべきものがあらうと思ふ。

二、佛蘭西の食糧政策

次に政府自から食糧政策を行つて居る國は佛蘭西と獨逸である。佛蘭西では國民の最大必要品たるパンの最高價格を定めて居る。その決定方法はパン屋組合の請願に基き、縣知事、警視總監、議員、當業者等から成る委員會の決定に依つて價格を制限し、一九二二年七月一日農務省令を以て生産者及び消費者を保護する爲めパンの價格を公定し、麥及び麥粉の價格の安定を圖つて居る。若しパンの原料たる小麥の收穫に變動があつた場合には適當と認むる範圍において價格を變更する。予が昨秋入佛の際はパン一キロ一フラン二〇セントの價格であつてパンの品質は省令を以て一定されて居た。

此處で少しく佛蘭西に於けるパンの原料たる小麥の生産と消費との關係を述べて見やう。小麥の生産は戰前に於ては國內の需要がその平準を保ち得たのであるが、現在に於ては消費力が增大し、從つて小麥を外國より輸入しなければならない情態に在る。その小麥の輸入先は主として米國、加奈陀方面であつて、その價格は自國產の品よりも安價であるので、國內の生産者を保護する爲め輸入税を課して居る。輸入税は小麥百キログラムにつき十四フランであつて、現在では外國產の小麥の方が幾分か高價になつて居る。之を消費者の側から見れば、高い小麥を購入しなければならぬ事となるが、佛國現在の生活情態から見れば、十四フラン位の制限は左程苦痛と感ぜられて居ない。其他肉、牛乳、馬鈴薯、鑵詰類、石油、石炭等に關しても一九一六年三月三日の法令で規定されて居るが、實際に於ては行はれて居ない樣だ。

少しく餘談に涉るけれども、佛國の農業情態に就いて語らんに、佛國に於ても我國の如く農業勞働者が都會と工業地に集中すべき傾向がある。殊に工業地に於ては八時間勞働制の結果、勞働時間が短くて而も多く

の賃銀を得らるゝ爲め、時間不規則なる農業に從事することは一般農業勞働者の厭ふ所となり、漸次農村を去つて都市に向ふものが殖ゑて來た。地主等は農民の不足を非常に憂ひ、之が對應策に就き腐心した末、外國人を傭ひ入れて耕作に從事せしむることゝなり、今日では國內農業勞働者の約八割までは外國人の勞働者である。例へば北部に於てはポーランド人、チエック●スロヴアッキア人、東部に於ては伊太利人、南部に於ては西班牙人を傭ひ入れて居る。此等外國人勞働者に對して政府は何等の政策も施さず、何等の干渉もしない。然らば思想問題とか勞働爭議の如き事件が起るかと言へば、決して斯樣な事はなく、地主と小作人との間は極めて圓滿である。賃銀は一日二十フラン位で、勞働者には家屋を與へ、家具、シーツ類に至るまで補給し、冬期には百キログラムの石炭を一箇月間與へ、勞働者をして兎、雞等を飼育して副業を營ましむる爲め小屋までも造つて與へて居るので、外國人勞働者は皆喜んで業務に從事して居る。

大體に於て佛國の農業組織は大農組織であるが、斯くの如く勞働者を優遇し、賃銀の高い割合に生產費は廉い樣である。然し將來國內の小麥の需要が益々增加するに至れば、加奈陀、米國等の低廉な小麥に壓倒せらるゝ虞れがないでもないが、政府當局の見る所では、數年を出でずして國內小麥の生產は戰前に復するものと樂觀して居る。以上述べた政策を我國の米の如き品質の數百種もあるものに對して行ふの可否は、遽かに論斷することが出來ないが、併し多少の參考にはならうと考へる。

三、獨逸の食糧政策

獨逸の國政は今尙ほ混亂情態の裡に在るため、十分調査することは極めて困難であり、從つて詳細に說くことは出來ないが、予が入獨當時はマルクが異常なる暴落を續け、反對に物價は逐日騰貴し、消費者困窮の

狀は到底筆紙の能く盡くす能はざる情態であつた。そこで政府は國民生活安定の一助として、小麥の收穫時期に當つて約三分の一の數量を時價を以て買ひ上げ、之をパンに製造して切符制度に依り一定の價格を以て賣つて居た。一方農民側に於ては麥の騰落常ならざるが爲めこの數量の徵發に對して一般に嫌忌する傾向を有して居た。小麥以外の食糧品に對しても一般生産者は賣惜みの傾向を見せてゐた。予が入獨の際は小麥以外の食糧品に對し政府において何等の政策をも施して居なかつた樣だ。伯林市の貯藏食糧は僅かに二週間位市民を支へ得るストックを有して居るに過ぎなかつた。政府はこの食糧缺乏より來る暴動を憂ひて之に對する政策を考慮して居る樣に思はれた。殊に住宅に就ては法令を以て値上げを許可しなかつたが、何分にも國を擧げて混沌情態にある爲め十分なる政策が行はれない樣であつた。更に冬期に入つたならば最も必要なる石炭の不足を來たして非常な困難を感じはしないかと思はれた。

予は極めて短時日の間に困難なる食糧問題を調査したので、十分その要を得ることが出來なかつたけれども、米國の如き供給十分なる國は別として、供給不足なる英國の如き國に於ても、之が需給事業を民間の自治に委して、政府は唯之を援助するに過ぎない程度になつて居るのは、洵に羨望すべき事だと思つた。殊に一般消費者の自覺心が發達して居るので、マーケットに出掛けて購入する場合にも、商品に就いて十分比較研究した上、品質良く且最も價格の廉い物を求むる風があり、就中節約を旨として安價な物を購求する爲め商人は不當な價格で品物を賣ることが出來ず、從つて暴利を貪ることは絶對に出來ない樣な情態になつて居る。生産者から消費者の手に入るまでの間が極めて少數の仲繼人のみによつて成つて居る爲め、中間の者に利益を占めらるゝ虞れもない。その結果、一般の生活必需品たる食糧品の如きも、概して我が日本の食糧品よりも廉價な樣に思はれた。以上の諸點を檢討して、國家經濟上、社會政策上、食糧問題に大なる注意を拂

はねばならぬ我國は、之を參考として工風實施しなければならぬことゝ思ふ。

簡易保險の社會的效果

大連郵便局長　和多野健藏

一、緒論

簡易保險の存在其のもの、それが即ち社會政策上の主眼目であつて、其の積立金を社會政策上の公共事業に融資するのは副産的の性質を有つたものである、從つて前者は主にして後者は従である、とは本保險創始當時當局者が發表した所の意見である。之を換言すれば簡易保險の社會政策的事業であるといふ所以は、益々之が普及發達を圖り、出來得る限り保險料を輕減して其の根據を鞏固たらしめ國民の多數を占むる階級者をして平素安んじて業務に精勵し幸福なる生活を享けしむるに外ならぬ。故に本保險の趣旨及び特長は總て被保險者を保護救濟する所に在る。以下之を詳述して此の保險の存在と其の運用とが即ち社會政策たる所以であることを明かにしたいと思ふ。今尚ほ中産階級以上の有識者に於て往々『二十圓乃至三百五十圓の小額保險が何になる、畢竟薄資者の保險である』と貶じて簡易保險を顧みない向があるが、之れは要するに前叙の主從本末的關係を無視した結果ではあるまいか。

二、本保險創始の趣旨

本保險法案は大正五年二月の第三十七議會に提出されたのであるが當時の遞信大臣より『此の保險法案を施行する目的は多數の人々に保險の恩澤を及ぼすと云ふことでありて保險思想の普及といふことはそれに伴ふて起る所の結果である、目的は保險の恩澤に浴せしむることに在る』

との説明があつたが、此の保險の目的は貧富の懸隔を調節する、即ち富者は益々富み貧者は愈々貧すと云ふ樣なことのないやう圓滿に社會組織の發展を促がす點にあると思ふ。

所が此の法案に對する質問中に（1）『保險を政府の獨占として絶對に民營を禁止するといふ事は大いに考慮すべき事柄であると考へる、又政府の提案は甚だしく民業を壓迫する虞がある爲め經濟界に惡影響を及ぼす心配がある』とか、（2）『政府は其の政綱として官業整理を標榜しながら玆に簡易保險を創始するが如きは政綱矛盾に非ざるか』といふ樣な事があつた。之れに對して大臣及び政府委員は先づ其の政綱に矛盾せざる事を述べ、そして『民間の保險事業はその保險金額平均七百三圓であるが、簡易保險は民間の手を着けることを好まざる少額の保險を實施するのであるから、何等民業に影響なきのみならず、之が爲め益々保險思想を發達せしめ、却つて民間の一般保險事業にも好結果を齎すだらうと思ふ』と云ふが如き答辯をなした。即ち本保險金額は二十圓乃至三百五十圓といふ小口であつて、大臣の云へる如く民衆を普ねく保險の恩惠に浴せしむる事が出來る社會政策上必要の制度たることは云ふ迄もない。

三、本保險は仁政の一端

玆に余の腦裡に最も深く感じたる質問が二つある。其の一は『國民の體育上から見ますれば身體が健全でなければ保險をつけることは出來ないのである。故に成るたけ健康を保護しなければならぬと云ふ思想を國民に有せしむることが必要である。然るに簡易保險は健康の如何を問はない。健康の如何を問はないで病體のものでも金になると云ふが如き思想を國民に有たしむると云ふことは、國家に取りまして甚だ不利益なことになりはせぬかと思ふ』と云ふので、之に對しては政府委員より『英米獨も已に無診査で簡易保險に加入せしむる制度を執つて居て何等國民の健康狀態に影響がない』旨を答辯する所があつた。此くの如く本保險は民衆が之れに入する場合に方りて醫師の身體檢査を要せず、單に局

員の視診問診のみで加入せしむる極めて簡易な所がその特長である。簡易保險の輝ある所以だ。其の二は此の保險がなくてはならぬ有益なる事業たることを裏書した質問である。その言ひ振が誠に面白く引例も奇抜であるから今茲に此の質問の全文を掲げる事とする。それは斯う云ふのである。

『高く政府が放資して而して此の法律の保險金を仕拂ふといふこと、また病人と健康者の診察を醫者に依らずして遣らせること、低利資金を融通しつゝ一方に於て割の惡い保險金を拂ふと云ふことになると、どうしても矛盾する。チヨッと聞くと宜いやうだけれども、一方は低利資金にして一方は病人を保護してやるのは、堯舜の政でも是れ以上に行くまいと思ふ。さう云ふことを西洋の諺で云へば一つの材料を以てウマイ汁とウマイ肉は出來ない。成程一つの牛肉を煮出せば汁はウマクなるが身はマヅクなる。身の方をウマクすれば汁の方がマヅクなくなる。然るに汁も身も兩方をウマクしようとは、巧みな方法でありますが、實際は其の反對の結果を見やしないかと云ふことを憂慮する』と云ふのが其の質問の要旨である。故に此の保險が惡からう筈はないのである、餘りよすぎて出來まいと云はれた位であるから。併し之は眞の杞憂に過ぎなかつた。其の證據には本保險加入者が今日既に約五百萬人を算すると云ふ素晴らしい發展をなしたのである。本保險が仁政にして慈善道德の發露たることは今更贅するの要を見ない。

四、保險金の差押禁止

折角貰ふべかりし金を債權者の爲めに差押へらるゝ樣なことがあつたならば加入者若くば其の遺族は非常なる苦痛である。例へば一家の柱石を失ひたる場合その遺族の手に保險金が入らぬことがあつたならば是ほど無慈悲の事はない。簡易保險は此點に特に明文を置きて受取人の權利を保護したのである。卽ち此の保險を契約すれば其の當日より二十圓乃至三百五十圓の財産が出來るのである。華族には世襲財産なるものがあつて、之には誰も手を觸るゝことが能きない、換言すれば華族は負債を

しても支拂を要せぬこと丶なる。そこで法律は不公平だと云ふやうな意味の批難があるが、誰でも此の簡易保險を契約すれば、如何に其人に負債があつても、此の保險金は自分の手に入るのであるから、恰も一身に專屬する華族の世襲財產と同一の特典を受けて居るわけだ。之と同樣保護の趣旨で保險金受取の權利なるものは他に讓渡することが出來ない事となつて居る。尤も公共團體に讓渡することは公德心の發露であり、また親族に讓渡することは人情の自然であるから、是だけは許されてある。要するに讓渡を局限したのは事前的の保護、差押の禁止は事後的の保護で、是ほど相互扶助的な法律はない。

五、名譽の戰死と保險金

『父死せば其子屍を履んで進む』とは日本帝國の士風である。此の勇往邁進の士風と肝膽とを以て彈丸雨飛の間に馳驅し、名譽の戰死を遂げたる人々に對し保險金を支拂はぬ樣な事があつたならば是ほど無慈悲なことはない。商法第三百九十五條には『戰爭其他の變亂に因つて生じたる損害は特約あるに非ざれば保險者之を塡補する責に任せず』とあるが、簡易保險に於ては此の條項を準用せずして、總て契約締結翌日と雖も保險金の全額を支拂ふのである。之が此の保險の光彩陸離たる所である。一時戰死に對し支拂ふとか支拂はぬとかの議論があつたが少しも問題にならなかつた。なぜなれば戰死は『不時の外襲』であり、簡易生命保險法第八條の『災害』であるからだ。同上同第十四章の商法準用規定中に前記の商法第三百九十五條の戰死の際、特約がなければ金を支拂はぬと云ふ條項が載せてないから、名譽の戰死に對して金を支拂つて吳れるは、此の法律の出來た當時より分つた事である。

六、審査會の組織と其の效用

保險の契約又は受取人が政府を相手取り訴訟を提起した場合は審査會の審査を經る事となつて居る。之が又非常に加入者を保護した方法である。審査會の組織は如何といふと、會長には遞信次官を以て之に充て、委員には司法省法務局長、農商務省工務局長、遞信局通信局

長、法制局參事官、司法省參事官、農商務省參事官、遞信省參事官其他學識經驗ある人三名を加へて內閣に於て命せらるゝのである。此點の組織は非常に能く出來てゐる。最初より民事訴訟を提起したならば加入者は訴訟費用を要するのであるが、それば保險の民衆化にならぬから此の費用の要らない樣にする爲め此會が設けられたのである。之をしも慈善といはなければ何をか慈善と云へやう。

七、保險積立金の運用

第四十四帝國議會には社會事業に關する種々なる法律案が上程されて何れも上下院で異議なく可決された。是れは時勢のさうなさしめた所で洵に結構な事である。法制上の保護と奬勵とは勿論必要なことであるが現實に現金を供給することは社會事業の爲めに最も效果あることゝ思ふ。其の社會事業といふのは市營住宅、小賣市場、職業紹介所、託兒所、食糧及び日用品廉賣供給所、實費診療事業、公設質屋、公設浴場の外に産業方面には自作農奬勵維持、教育方面には小學校、衞生方面には傳染病院等で、之等に對し三千三百萬圓の積立金が放資せられたのである。

此の如く簡易生命保險は加入者の納めた保險料の收入から保險金を支拂ひたる殘りの積立金を以て公共の事業に資金として供給して居るのである。即ち此の保險加入者は不知不識の間に社會の人々の爲め善意的に金を投じて居るのである。大連に於ても客年來現在にて住宅組合の爲めに十五萬圓、公設市場の爲めに十萬圓といふ保險積立金が融資せられた。此の保險の金がある爲めに大連においては此くの如き公共事業を行ひ得るのである。また之等の事業の爲めに大連の人々が受けた利益も蓋し鮮少ではあるまいと思ふ。從つて簡易保險に加入することは立派な社會奉仕であると云へるのである。

八、自殺と簡易保險

商法第四百三十一條第一項第一號は被保險者の自殺の場合に於て保險者に保險金支拂の義務なきものと定めてあるが、元來自殺は多くの場合生活困難の爲め又は精神錯亂の結果行

はるゝもので、頗る同情すべき點あり、殊にその遺族に對しては洵に氣の毒に堪へぬ次第である。從つて之れに對して全然保險金を與へぬと云ふことは、啻に人情の自然に反するのみならず、簡易保險の如き道德の上に立脚して居るところの一種の慈善制度に在りては、一層理窟に合はないのである。是れまた簡易保險の上に慈善を眼目とせる法律の精神が窺はれる所である。乃ち自殺といふが如き悲慘なる事のなきやう、萬一有つても遺族の困らぬやう、簡易保險には是非とも加入する必要がある。

九、保險金貸付の種類　保險金を受取るべき權利の讓渡を禁止したのは、可は即ち可なるも受取人は之がために金融の途を杜絶せらるゝことゝなる。是に於てか政府は特に加入者に對し貸付なる制度を設け此の不便を救濟することゝした。而して其の貸付は如何なる範圍に於て施行せらるゝかと云ふと保險契約の解除に依り還付すべき金額の範圍內においてすべきものと定められてある。故に契約締結後一年間は貸付といふ問題は起らない。さうして一年後に至りて始めて五圓以上の貸付けを受くることが出來る。之を稱して普通貸付といふ。猶ほ此の外に振替貸付なるものもある。

一〇、結論　以上述べ來つた所によつて本保險の特長は加入者即ち社會奉仕者であるといふ結論に到着する。如何となれば保險受取人に支拂はるべき金なるものは、加入者の納めた其の金より支拂ひをするのであるから、總て加入者は眼前の利益を犧牲に供し相互救濟といふ美しき心から加入せなければならぬからだ。之れが加入者即ち社會奉仕者であるといふ第一の理由である。又金を貸付けるといふ事は貸方は政府なるも、其の金は前記の保險金を拂つた其の殘りの積立金の中より貸すのであるから、貸主は結局加入者である。之が加入者即ち社會奉仕者といふ第二の理由である。又前記の積立金は時代の要求に應ずる社會事業に放資せられ、努めて民衆の利福增進のためにし、弱き者を强くし、又弱い者を發生せしめない

樣に國民生活の保護救濟に當る使命を有するのであるから、之に依つて近時の所謂社會病を醫することも出來る。之がまた加入者郎ち社會奉仕者といふ第三の理由である。

少年の保護並に敎化（二）

京日旅順支局長　池内勝里

(D)職業と犯罪の關係

人として一定の職業を有して居らぬ者はない、從つて其の活動もまた職業の範圍内に於て行はれる。職業は人生に密接なる關係を有して居る。

少年の犯罪的傾向も矢張り職業の環境に支配せられ、其の動機は主として其の職業を常に轉換せうとする性癖に培養せられるので、漸次怠惰となり、更に進んで危險を帶びた職業に移動するか、或は流轉して所謂無賴漢のグループに陷り、遂に金箔附の不良少年となり、公然犯罪を敢てするに至るのである。然らば如何にして職業を轉換するの性癖が犯罪の原因を釀成するかと云ふに、之は畢竟意志力並に自制力の何れもが薄弱であるのみならず、忍耐心に乏しいといふ事も一原因をなして居るが、一面純潔にして未熟なる少年の頭腦が自ら適當なる職業を撰擇する能はざる結果である。更に職業轉換の理由を列記して見ると、(一)辛抱が出來ないため、(二)仕事に對して不平である爲め、(三)主人に理解力がない爲め、(四)主人に叱責された爲め、(五)自暴自棄を起した爲め、(六)自由を束縛せらるゝ爲め、(七)勞働が苛酷なため、(八)誘惑を受けた爲め、(九)將來の見込立たない爲め、(十)仕事に趣味が生ぜないため等である。

それから都會と犯罪の關係を述べて見れば、人口の都市集中といふ趨勢は、必ずしも少年に限つた事でなく、現代の一般的現象であるが、近來殊に少年において此の傾向が濃厚になつて來たやうである。而も少年の都市集中は何れも言ひ合はしたやうに確乎たる目的を有つたもので無く只漫然と夢を見るやうな者のみである。從つて父兄の許諾を得たものは尠なく其の多くは無斷である。其の原因としては或は農業を嫌つたり或は他人の立身立世を眞似んとしたり、或は地方生活が無意義であると考ゐたりして、鄕關を出づる當時は衝天の意氣であつたが、前に述べた如く、確たる目的、堅實なる意思がないのであるから、都會生活の第一步に踏入つたが最後、其の環境は悉く彼等の好奇心を唆り、誘惑の魔の手は容捨なく彼等を攫み、遂に彼等をして墮落の淵に沈ましむるのである。少年をして茲に到らしむる迄には、猶ほ種々なる原因もあるが、現代敎育が經濟的並に職業的生活に必須の敎授要素を缺いてることも一原因である。孟母三遷の敎ゐも時には必要であるが、現代のやうに社會組織が複雜になつて來ては、單に白粉塗りの敎育では實社會に對して矛盾と撞着を敎ふるのみであるから、將來の敎育は此邊に留意する必要があらう。

(E)不良少年の種類

不良少年のことに付いては、曾て本誌上において述べたことがあるから茲に改めて詳記する必要ないが、今少しく補足の意味で述べて見たい。

不良少年の增加は獨り日本のみでなく現時の世界に於ける一般的副產物である。我が內務省の統計によれば、最近五箇年間に司法處分を受けたものゝ數は約四十萬人で、一箇年平均八萬人、東京市のみでも約三萬人の不良少年が居る。今內務省地方局の調査に依る不良少年の縣別を見ると、兵庫縣を最高とし、大阪、神奈川、長崎、新潟、愛知、岐阜、山形、廣島といふ順序である。

言ふまでもなく、不良少年の激增は啻に社會の空氣を汚すのみならず、併せて他の善良なる少年を誘惑せ

うとする傾向を有つて居るから、之が豫防と警戒を嚴にすることの必要なるは論を俟たない。不良少年は多種多樣で、一律に論ずるのは困難であるが、之を大別すると概略次の通りである。

（一）純不良兒　これは已に先天的に體質や精神の上に缺陷をもつて居るのである。此種の不良少年は盜癖とか金錢浪費の惡癖を有つてゐるもので容易に良化し難い。

（二）模倣　模倣は少年の特性である。勿論之れには種々なる好奇的慾望も伴つてゐるが、社會的智識と經驗に乏しい彼等は、事の善惡曲直を判斷することが出來ず、模倣性の動くがまゝに唯徒らに眞似るため、不知不識遂に惡い事にも感染してしまふのである。

（三）誘惑　不良少年は常に他の善良なる少年を誘惑せうとする。又それが爲めに他の歡心を買ふべく總ゆる手段方法を講ずる。一たび此の誘惑に罹ると身心共に健全な少年であつても、思慮分別に乏しいため、また一つの慾望を滿足した嬉しさに、他の慾望をも滿たさうと考ね、何時の間にか不良化してしまう。此種の不良少年が世の謂ゆる不良少年のうちに一番多いやうである。

（三）輕薄　近時の輕薄なる時代思潮は、少年少女をして謂ゆる戀愛至上主義を謳歌せしめ、公然として破廉恥的又は悖德的行爲を敢てせしめる。殊に輓近に至りて女子の方より男子に向つて挑戰的態度に出づる場合がある。此の新らしき女なるものも不良性を帶びたものと言へやう。

（五）虛榮　虛榮の勝つた現代の物質文明は、吾人の日常生活に對しても上ッ調子であつて、少しも反省的眞面目的なところがない。それが自制の力なくして一も二も慾望を滿足せしめんとする少年少女に感染せずには居らない。其の結果が萬引となり又は板の間稼ぎとなる。

（六）過重教育　學校の過重敎育に堪ねず、通學する事を厭ひ、諸方を徘徊して不良の仲間入りをする者

がある。詰め込み主義の敎育の弊も亦大なりと謂ふべしである。

（七）思想惡化　社會組織の複雜に伴なふ經濟上の推移は人心に種々なる刺戟を與ねる。殊に近來のやうに經濟上の壓迫甚だしき時は、日常生活にまで不安を與へると同時に、自由平等の思想が純潔なる少年の頭にも何物をか與へずには置かない。其の結果として、穿き違へた政治的社會的運動に狂奔し、動もすれば破壞主義に流れやうとする。少年の中に斯うした者も多くなつて來たやうだ。

（八）虐待　父母の冷酷なる措置や雇主の敎育法や使用法に堪ね兼ねて、自由を欲する結果、遂に家出をなし、そして放縱生活に陷るものもある。ツイ先頃、大連における某中流の家庭に育つた少年が繼母の虐待に堪ね兼ねて家出をなし、數日間西公園のベンチに起臥して居たが、此間に少年の頭に芽ざしたのは、繼母に對する燃ゆるが如き復讐の念であつた。彼は其の手段として自家に放火せうとして發見され、さうして遂に縛に付いた。其の間の詳細な事情は知らないが之を前後の事實から見て誤つた母親の子女に對する方法が斯うした際どい事をさせるに至つたものであるのは論を俟たない。

以上八項に分類して、簡單に不良少年發生の原因や其の徑路を述べて見たが、之等の原因を防止するには社會施設に俟つと共に、兩親及び監督者に於て充分の注意を拂はなければならぬ。

如何ほど社會施設が完全しても、如何ほど當局者が警戒を嚴にしても、又如何ほど學校で注意しても、直接監督の任にある兩親又は父兄が少年の敎養を等閑にしたならば、少年をして善良に發育せしむる事が能き得ないのみならず、不良少年は永久に絕ねないものと信ずる。

× × × × × × × ×

留岡幸助氏と其の社會事業

北海道社名淵の植民的社會事業と家庭學校

留岡幸助氏は現代の日本における社會事業家の權威であつて這は既に何人も知る所であるが同氏は東京府下巣鴨に財團法人家庭學校を經營しその校長として拮据し居らるゝ傍ら雜誌『人道』を發行し其の主筆として堅固なる信念と豐富なる學識と崇高なる人格に依りて社會問題の論議鼓吹に努め猶ほ北海道北見國遠輕村社名淵にコロニー●システムに據る農場を經營し其處に敎育部を置きて社會の救濟と其の善導とに不斷の努力を拂はれて居る留岡氏が本年三月來滿されて滿鐵社會課主催の社會政策講習會に講師として臨まれ猶ほ滿洲社會事業研究會のため『勞働觀念の改造』と云へる講演をされた事は當時所報の通りであるが本會機關雜誌『滿洲之社會』五月號に掲げた同氏の此の講演筆記には誤謬が多かつたから同氏に訂正を求めて置いた追つて改めて掲載する筈である其の來連當時留岡氏は或人に『一路到白頭』と書いて與へられたが始終一貫萬難を排して社會公共の爲めに竭さるゝは洵に敬慕に堪へない。

北海道北見國遠輕村社名淵における植民的社會事業たる農場並に其の敎育部にては本年八月二十四日其の十周年記念の式を擧げた當日は午前九時より惠ヶ谷望の岡禮拜堂にて讃美、祈禱、聖書朗讀及び會計並に事業の報告をなし内務、文部兩大臣より鄭重なる祝電、東京府知事、北海道長官の祝辭の外に函館渡島病院長横山杉、北見網走支廳長林田兩氏及び遠輕村長等の祝辭あり終つて君ヶ代を二唱し之にて式を終り更に午後一時より講演會に移り岩見澤廳立農學校長蠣崎知次郎氏の天啓と成功、農商務省派遣間部技師の社名淵家庭學校農場を見て、救世軍日本本營大佐山室軍平氏の世界最大のもの等の有益なる講演あり折柄雨天なりしにも係はらず聽衆六百餘名に達し頗る盛會であつたとの事である。

次に東京府下巣鴨の財團法人家庭學校にては八月二十七日午後正一時より遊園地内の市内高等女學校において創立滿二十五周年の記念講演會を開き校長留岡幸助氏の大自然と兒童、北海道廳内務部長得能

佳吉氏の社名淵家庭學校創立十周年に對する所感、救世軍書記官長山室軍平氏の社會事業家の資格、東京帝國大學敎授法學博士牧野英一氏の最後の一人の生存權といへる極めて有益なる各講演があり聽衆八百餘名に上り非常に感興を與ねたさうだ。

雜誌『人道』の二二五號(六月發行)並びに二二六號(七月發行)に主筆留岡幸助氏は『原始林の生活』と題して同氏が前記北海道北見國遠輕村社名淵にコロニー●システム卽ち植民的社會事業としての農場を創設された當時の苦心談を掲載してあるが本年その十周年を迎ねた此の植民的社會事業の當初が如何に困難なもので有つたかは此の記事を一讀して見て直ちに首肯される十年前の社名淵は曾て人の住んだ事のない森林地帶であつて山でも溪谷でも川でも名のない自然のまゝで有つたので留岡氏は其處に移住された當時堀立小屋の中に住ひ一方ならぬ苦患と鬪つて先づ無名の山や川や谷や丘やに名を附け夫れから原始林の開拓に手を着けたのだが斯くして農場を設ける迄の間には到底筆紙に盡し難き非常なる苦心を嘗められたのは言ふ迄もない事だ且此の農場は家庭學校の農場で且植民事業としての社會事業である爲め土地を開いて農產物を得るのが目的ではなく目的の事業は處を得ない少靑年を敎育するのであつて土地開墾は此の事業を營むについての手段であるから不毛を開き土地を開墾し農場を起すと共に直ちに敎育用の校舍、家族舍、禮拜堂、其他の屋舍を建設した其等の建物の作られた處は留岡氏に依つて命名された惠みヶ谷である氏曰く『開墾當時のことを考ねると丸で戰場のやうな心地がする』と如何にも开うであつたらうと思はれるコロニー●システムとしての敎育を本義とする北海道社名淵の農場は斯うして出來上り今や其の十周年の記念を迎ね天の惠みの下に留岡氏の志と努力は報ひられたのである。

原始生產地たり農業地たり植民地たる滿洲にも此の樣な意義深きコロニー●システムの農場を開き母國の貧窮人、出獄人、失業者、孤兒、貧兒等を收容し之を敎化善導する爲めに土地開墾と農業とを行つたなら植民事業と社會事業とを同時に實行し得るわけで而も將來永遠に亘つて活きた事業となる事であらうと考ねるが此邊に深く思ひを致すものが無いのは寔に殘念である留岡幸助氏の精神と其の事業を偲ぶにつけ感慨轉た無量である。(山田生)



社會問題五言

本會評議員　柴田博陽

電車乘客の差別問題

僕は敢て差別待遇を叫ぶものでないが大連の電車に乘つて頗る不愉快を感ずるのは苦力と混席する事である。實際彼の乞食にも等しい不潔極まる身裝をした苦力が席の左右に腰を掛られた時はゾッとして逃げ出したくなる。日本人に對しては太腿を出すなとか啖を吐くなとか喧しく言ふが、彼等苦力は暑い日など垢染みたる上衣を一寸片肌に掛けたまゝで眞つ黑な背中から胸の邊まで曝け出し、平氣で啖も吐けば唾も散らす。乘客中の紳士淑女は勿論の事、吾吾まで言ふべからざる不快を感じ、其の汚臭と不潔とには閉口せざるを得ない。傳染病も斯る所から傳播し風紀も斯る所から紊亂するのだ。

人種平等は結構な事だが、衞生及び風紀の上から下級支那人たる苦力の電車乘りには一日も早く差別待遇をして欲しいものである。以前の樣に賃銀で區別するのも可いが、夫れでは完全に目的を達し得られないから、苦力に對しては苦力電車といふやうな特別電車を運轉し、成べく彼等を其の方に乘用せしむる事にして貰ひたい。滿鐵の當局者は此の問題に就いて大いに考慮して可なりである。

王家屯墓地移轉問題

何處から出た風說か知らぬが西王家屯の墓地が移轉せらるゝと云ふ噂が盛んである。今更ら斯んな馬

鹿氣たことを當局者が斷行する筈はなからうと信ずるが、萬一左樣な事實があるとすれば、斯は由々しき社會問題である。彼地に墓地が設けられてより既に十有七八年、滿洲で働いて滿洲で斃れた人々が骨となり靈となつて此處に置かれて在るのだが、夫れを恰も屠獸場でも取扱ふやうに打壞したり移轉させたりして堪るものではない。或る者は市街地となつた彼の地に墓地を置くのは市の發展上宜しくない抔と言ふが墓地は墓地として整理して置けば何處に在つても決して眼障りにはならぬのである。

　現に世界唯一の都市たる紐育の最大繁華のブロードウエーにも廣大なる敷地を有するトリインテーチヤームがあつて其のチヤーチには澤山の墓が建並んで居る。東京にも市中に幾多の寺院があり墓地もあるぢやないか。或る利權屋が西王家屯の墓地を手に入れ一攫千金の利を握らうと目論んで墓地移轉運動をしたのが抑も此の噂の原因らしい。斯んな風説に動かされて折角の墓地を利用しない者が大分多いさうである。墓地と植民地の發展とは極めて密接なる關係を有つたものであるから、當局者は一日も早く其の風説の無實無根なることを聲明し、そして一般の誤解を一掃しては如何なものであらう。

中央ホテル敷地問題

電氣遊園地下に中央ホテル建築敷地と云ふがある直にも建築しさうに一時は板塀圍ひまでしてあつたが、不景氣の爲めにや建築はお流れとなり、その板塀も何時の間にやら撤退されて了ひ、そして其の敷地は今や雜草の茂るが儘に放棄されて居る。何と云ふ殺風景な事であらう。僕は此處を通行する度に何う云ふ譯で此の土地が中央ホテルの敷地となつたのであらうとの疑念を起す。若し官廳で此の土地を一私人に拂ひ下げたとすれそれはば非常なる失態であると思ふ。現に同地は電氣遊園地の眞つ下であつて當然遊園地に編入すべき場所である。

　然るに之れが一私人の手に入り、ホテルとか料理店とかゞ出來たとすれば、折角の此の一帶の地が全く俗化して了ふのみならず、併せて電氣遊園地の風致を害し、又遊園地よりの眺望も遮られ、遊園地の特色を抹殺する事になる。仍つて若しも此地の買收が出來るとせば、滿鐵は一日も早く之を買收して了ふがいゝし、若しまた民政署で取上げる事が出來る

とすれば、今日にも即刻取上げて了つて遊園地に讓與するのが最も賢明なる策であると思ふ。

西公園の改造問題

西公園の改造問題は社會事業研究會の年來主張する所であるが今日に至るも何等改造の實が擧らない改造の實が擧らないのみか、反對に無暗矢鱈と妙な建築物が出來、公園としての雅致を損して行く。僕は公園としての敷地がどの邊からどの邊までか其の區域を確然と知らないが、僕の希望としては、電氣遊園地から現今の西公園の全部は言ふ迄もなく、東は療病院の裏山より南山一帶を網羅し、更に松山町邊までも其の區域として欲しいのである。然るに常盤橋附近を淺草式の花屋敷とし、夫れから製氷會社附近までを市街地とするといふ噂もあるが、果してそれが事實であるとすれば、電氣遊園地と西公園とが遮ぎられて非常に面白くないと思ふ。

若しも淺草式の施設を要するとせば夫れは電氣遊園地に接近した道路の北側に當る下水工場地帶が最も適當と考ゐる。公園は公園として飽迄も閑靜なるを要す、樹木を茂らせよ、湖水を設けよ、而して以て俗氣を一掃せしむる小仙郷とせよ。但しその一部に動物園や、圖書館や、運動場等を設けるのも可い殊に小兒の遊戯場を作るのは最も望ましい事である徒らに俗趣味の建築物や其他の施設をなして將來に悔を殘すやうな事をしてはならない。

大連の禁酒問題

社會事業の根本的精神は總て豫防的である。然るに口に社會事業を云々して禁酒問題を輕視する者が多い。酒は總ての罪惡の源泉であるのに識者にして眞面目に禁酒問題を研究する者がないのは遺憾千萬である。少年禁酒法は一昨年から行はれて居るが家庭や學校等でドレだけの注意を拂つて居るであらう乎。社會構成の自然的要素は家庭であり、人物養成の必然的要素は學校であるが、今日吾が日本の家庭又は學校では酒の問題に對して殆んど無關心である大連禁酒會が生れてから十九年になるが大連人士の中には其の存在すら知らざる者がある。從つて酒は依然として大手を振つて跋扈してゐる。

大連民政署の調査によれば、昨年四月一日より本年二月末日までの十一箇月間に於ける管內の釀造高

は日本清酒合計二千六十五石四斗七升六合、支那酒二千三百八十二石九斗一升八合、外に輸移入酒一萬九千百三十七石七升一合で、實に莫大なものである之を前年に比れば多少減少したる傾きありと云ふも斯は不景氣の影響で決して自省の結果でない事は明かである。僕は切に思ふ、大連禁酒會は今少しく眞劍に宣傳に努めよ、家庭も學校も此の問題に就いて十分に考慮しなければならぬと。社會事業研究會でも大いに之を研究して欲しいのである。

時流逆行の職業＝女中難

東京市中央職業紹介所長　安田亀一

今日の世情に於ては就職難の大勢を如何ともすることが出來ない。然るに此の時代的大勢に逆行して寧ろ供給不足を呈しつゝある二三の職業がある。その著しいものとして小店員、女中、技術工（主として大工、左官等の如き特殊のもの）を數へることが出來る。本年七月下旬に於ける東京市職業紹介所に表はれた求人求職の状況を見ると

大別したる職種	求人數	求職數
主として事務的業務（官公吏會社員技術者記等者）	一三一	一四四一
工業勞働（各種職工見習及び雜役）	一三三〇	二六一八
商業（店員、外交、下働、雜役）	二六五二	一八二五
技術工（大工左官ペンキ等の如き職人）	三五三	二三三
小店員及び給仕等（少年）	一〇一五	一一八
女中	九六〇	一七五
其他（集金人、新聞配達、筆耕等）	三四五	一五二七
計	八五六七	八三二七

となつてゐる。一般に雇傭成立の困難なる事情を檢すると大凡三に歸すると思ふ。其の一は主として雇傭條件の不一致に關し、其の二は主として業務の要求する技能條件の適否に關し、其の三は主として素質上の調不調に關するものである。女中の場合は小店員の場合と共に主として雇傭條件上の關係から雇

傭難が出發してゐるもの丶如くである。雇傭條件と云ふ中には雇傭の形式、勤務の方法、仕事の內容といふやうな事も廣く含めて云ふのである。

女中難は聞く所によると單に日本のみでなく歐米に於ても同樣の狀態を呈してゐる。また日本でも無論今日に始まつたことではない。試みに東京市職業紹介所の大正元年以降における女中求人女中求職の趨勢を見ると左の如くになつてゐる。

年次	求人數	求職數	求人に對する求職割合
大正元年	三四八	一六三	四七
同　二年	三六七	一六五	四五
同　三年	三五六	一八〇	五一
同　四年	三九六	二一四	五四
同　五年	五五三	二一五	三九
同　六年	二〇〇	五二	二六
同　七年	一三一八	二七一	二一
同　八年	一八一四	二九七	一六
同　九年	二四三九	三九三	一六
同　十年	五三六五	八六〇	一六
同十一年	一〇四七	八二四〇	四二
同十二年	一五五九	四八八三	三一

大正八九年の好況時代に於ては女中難は最も甚だしく求人一〇〇に對して僅々一六の供給しかなかつた。大正十二年に至り百人の需要に對し三十一人だけの希望者が現れてゐるのは震災の影響を物語つてゐるものであらう。此の關係は營利紹介所(桂庵)の取扱數字を見ても略同樣の事情が知られる。斯かる結果は女中を希望する者をして雇傭條件の主張を强硬ならしめる。子供があつてはいかぬ、乳呑兒のある家は避けたい、家族の多い家では困る、水は水道か、井戸ならポンプでなければいかぬ、主人は使用人に對する理解があるか、言葉遣ひも呼び捨てゞは不快だなど丶云ふ者さへあるに至つた。

男子は戸外に働き女子は戸內で援けるのが永い間の因襲的鐵則であつた。それが十八世紀に機械といふ惡戯者が世に出てから產業の樣式を著しく變へて戸內に潛んでゐた女子の手を導いて戸外の各種職業と結びつけた。のみならず歐洲の天地にはすさまじく自由平等の風が吹き荒んだ。斯かる刺戟から春風の心地よさに誘ひ出さる丶小羊のやうに家庭の婦人は我も〱と職業の野に志した。この風潮は今も猶ほ世界を支配しつ丶ある。「內より外へ」それは現代

婦人の心中に潜む暗默の標語であらう。「束縛より自由へ」―それは彼等の胸に秘めてゐる強い叫びである起居の自由、勤務の自由、經濟の自由はそれである女中の或者は嫁入仕度、行儀見習の爲めに特に嚴格な不自由な奉公生活を欲するが、概して勤務の外に自由の時間を欲するものが多くなつた。一般に雇傭制度の上に主從主義が漸く影を消されんとしつゝあるのは事實である。主從主義の最も名殘の多い女中生活に於てさへ、今日ではこれを單純な行儀見習とか、他人の中での苦勞の體驗とか云つた生優しい事情以上に、もつと切迫した生きねばならぬ糧への要求としての意味が强められて居るのであるから、主從主義が滅するのは寧ろ當然であらう。

女中を立派な婦人職業の一として數へ、その從事者を職業婦人と見ることに於て、敢て不都合はないであらう。かう考へて來ると女中難の解決案は給料や手當の多寡の問題よりも矢張り勤務の自由と云ふことに焦點を置かねばなるまい。而して勤務の自由は主として分量の制限と時間の制限に歸するのではあるまい乎。通勤にしても住込みにしてもそれは問はない。勤務の分量は之を時間で制限することが出來る。而して女中制度の改善は必然的に延いて家庭改善を伴はねばならないのである。

少年團の數二千八百有餘

後藤子を總裁とする日本少年團聯盟は一般社會の自覺と同時に文部當局の膽煎りにて著しき發達をなし最近にては全國を通じて二千八百五十四團體五十一萬餘の團員を有するに到つた抑々我國の少年團は歐洲大戰まで微々たりしが歐洲大戰に各國少年團幹部が後方勤務に顯著なる功績を擧げしことが我國の少年團を刺戟し爾來急速の發達を遂げ今日に至つたものである而して我國少年團の特に重きを置ける事業は學校の訓練延長最も多くそれが八百二十七團體を算し其他一般的精神修養六百五十一團體、體育團體二百九十八團體、體育と社會生活二百三十團體、佛敎を通じての精神修養百五十六團體、基督敎を通じての精神修養八團體等あり最初少年團は市部に於て發達容易なるも郡部にては至難なるべく豫想されたが實際は之と正反對で郡部に於て却つて發達を遂げてゐるのは大いに注意すべき事である。



英國に於ける住宅政策

在東京　一記者

英國の住宅政策に關する記事は八月號に揭げたるが玆に揭記するものは其の補遺なり。

（一）地區の改善　先づ從來の事業成績を示せば、リヴアプールに於ては一九〇一年より一九一二年までに十八地區卽ち二・五二一戸の細民地區を改善し、倫敦市會は謂ゆる境界街路制によつて一八九三年より一八九七年までに人口五・七一九を有する十五エーカーの細民地區を掃蕩した。然れど細民地區の內には未だ改善されぬものが少くない。例へばベスナール・グリーンのブレデイ街區の如きは一九一三年地方政務局の調査に依れば、面積七エーカー、住宅五三八棟、人口三・〇〇〇を算し、一・〇〇〇につき三四・七四の死亡率を示して居る。勞働黨內閣が最近更に下級勞働者に對する住宅供給を主とする住宅法案を下院に提出し自由黨の贊同を得て之を通過したのも故あるかなである。

衞生委員は任意又は市町村長乃至地方稅を納むる住民六名の要求によつて細民地區を調査し改善の必要ありと認むるときは之を地方長官へ報告する。衞生委員之が實行を怠るときは治安判事又は地方稅を納むる六名の住民は衞生省に調査を申請することが出來る。衞生省の廢置に就ても亦同前である。改善の樣式は一部不必要なる住宅の撤去と危險性を有する全部住宅の掃蕩との二種より成る。

從來地區改善事業の進行を阻止したる最も重要なる原因は、法が地區地主に對して寬大に生じたること、退去を命ぜられた者に自から其の住宅の再築を期待したることとの二點である。然るに新法に於

ては多くの改正を加へた。是まで細民地區を掃蕩せんとするときは土地並びに家屋に對して補償を與へたけれども新法に於ては之を土地のみの價値に止めた。且また改善すべき全部の土地が住宅再築の必要ありと認めたとき又は空地として必要なるときは之を勞働者住宅の敷地たらしめんとする者に限つて地價に相當する補償を與へるのである。

又從來は就業の場所に對する距離の關係よりして細民地區を退去することを肯んせざる者が多かつたけれども、今や此點は最も嚴密に調査せられ、努めて退去を勵行せんとするに至つた。又改善したる地區に住宅を再築せんとするときは努めて其の住宅の周圍に草木や花卉を植ゑ込み得らるべき空地並びに兒童遊園を設置することゝなつて居る。

新住宅供給の場合は勿論、舊住宅を破毀し若くは再築する場合に於ても、地方官廳は國庫より補助を受ける。蓋し地方官廳の財源は一片稅の程度に限らるゝからである。衛生省は一九一九年の法第十六條により本事業の目的の爲めに土地及び建物を取得且所有し、建物を建設、改築、增築、修理又は改善し並びに該土地又は建物を賣却又は讓渡することが出來るやうになつて居る。然れど現下の住宅不足は大いに地區改善の事業を阻碍しつゝある。

(二)撤去及び修理　一九一一年、一九一二年及び一九一三年、ソマーセット郡に於ける住宅檢査の結果に依れば、バス村に於ては七七四戸の中五八戸卽ち七・五パーセントは居住に不適當であつて、二五一戸卽ち三二・五パーセントは不適當でないけれども缺點あることが發見せられた。又タウントン村に於ては一七九七戸のうち一七一戸卽ち九・五パーセントは不適當であつて一三七五戸卽ち七六・五パーセントは缺點があつた。以て一般の情況を推すことが出來るであらうと思ふ。

一八九〇年の住宅法第二篇は地方に於ては市町村會、倫敦に於ては各區會を以て不適當住宅調査に關する地方官廳を定めた。倫敦市會は各區會の力足らざる時又は其の申請によつて適當の處置を取ることが出來る。地方官廳は定期的住宅檢査を行ひ、衛生醫員は任意又は治安判事乃至家屋所有者たる四名の住民の陳情により、不適當住宅に關する報告を其の屬する地方官廳へ提出するのである。不適當住宅と並んで一九〇九年の法には障碍建築物卽ち其れ自身

は不健康でなくとも其の位置の關係上他の住宅の採光及び通風等を阻碍して之を不健康ならしめ又は改善を妨ぐるものに關する規定がある。

地方官廳は不適當住宅の所有者に對して之が閉鎖を命ずることが出來、それと同時に、所有者に落度のある時は、十四日以內に衞生省へ訴願することが出來る。該訴願の提出なく又は有つても却下せられたときは、居住者は此處を退却することを要し、移轉の經費は場合によつて家主の負擔となることがある。閉鎖命令を下してより三箇月を經るも、該住宅が衞生的に改善せられず、又は其事の不可能なる時は、地方官廳は之に對して撤去命令を發することを要する（之れに對して不報なるときは所有者は衞生省へ訴願することが出來る）。又若し該住宅が其の所有者によつて衞生的に改善せらるゝ見込あるときは撤去命令を發する場合において六箇月の猶豫を與へ此間に之が改善を爲さしめるのである。

撤去命令を受けてより三箇月を經過するときは所有者は該住宅を撤去することを要する。所有者が之を怠るときは地方官廳に於て之を撤去し其の經費は所有者より之を徵收するのである。其の敷地跡には健康に有害なる住宅又は他の建築物を建設することが出來ない。一九一九年の法第二十八條に依り地方官廳は不適當住宅の所有者に對して二十一日以上相當の期間を限つて之を修理することを警告することが出來る。若しも所有者が該警告に從はざるときは地方官廳に於て之を修理し、其の經費は所有者より之を徵收するのである。障碍建築物に對しては前記撤去命令及び撤去處分の適用がある。

（三）都市計畫　都市の衞生を維持せんが爲には一エーカーにつき二十五人以下の人口に限ることを要すとの説があるけれども、英國に於ける多くの都市は一エーカーにつき二百人乃至三百人の人口を收めて居る。從つて之より生ずる生理上並びに風紀上の弊害少なからざるものがある。國勢調査に於ては、內閣統計局の規定に依り十二歳以下のものを半人と計算し、一室二人を標準とし、其の以上を人口稠密と看做して居る。一九二一年に於て三・一三九、四七二人卽ち英蘭及び威斯人口の九・一パーセントは稠密の情態に在つた。また一九一九年の石炭問題調査委員會へ提出せられた資料によれば、ノーサンバーランドのアシントン炭坑地域においては人

口の三二・二パーセント、ダラムのアンフイルド・プレーンに於ては同じく四一・四パーセント、ダラムのソードゲートに於ては同じく四三・六パーセントは殆ど稠密の情態にあつたさうである。

該法の制定後九年間に於て都市計畫案を作成したる地方官廳は僅かに一百に過ぎない。計畫案一五五通、地域二七九、一八四エーカーである。而して一九二〇年迄に實際工事に着手したるものは該計畫案の約十分の一を出なかつた。該法に依り一九二三年一月一日以後人口二萬以上の總べての市及び町に對して都市計畫案を作成することゝなつた。また衞生省は都市計畫を至急必要とすと認むる地域あれば所管地方官廳に對して之に關する計畫案の作成を命ずることが出來る。尙ほ地方官廳が都市計畫に關する義務を遂行せざる時、又は人口二萬以下の市又は町若くは村に於ては、衞生省自から都市計畫を執行するけれども、何れの場合に於ても其の經費は地方官廳の負擔たるものである。

日本全國各地の少年團

大連民政署學務係　阿左見禍馬

私は約四十日間に亘り內地各地における少年團の現況を視察して來ました。その視察した個所は鹿兒島、神戸、大阪、京都、名古屋、靜岡、東京、京城の八ケ所である。元來我國に於ける少年團は多種多樣であつて、之を一樣に見ることは出來ないが、其の主要なるものは小學校敎育の補助的性質を具有し尙ほ英米に於けるボーイスカウトの事業に眞似て編成したものが多いと云つて可い。今その日本全國に於ける各種少年團の狀況を調査するに、現在少年團として組織されて居るもの約千六百餘團ありて、この團員約二十三萬人の多きに上り、一ケ年の經費約四萬五千圓と稱せられて居ります。

一、少年團の種類　我國に於ける少年團は其の目的に於ても、其の事業に於ても、名稱の異る

が如く相互に異つた各性質を有して居るのであるが凡そ之を五種類に分つことが出來ます。

一、宗教的團體（佛教主義のもの基督教主義のもの）
二、學校訓練の目的を達せんが爲めの團體
三、軍事教育を目的とする團體
四、體育其他特殊事業遂行を目的とする團體
五、其他普遍的目的を有する團體

二、少年團の名稱

その種類の多種なるが如く、其の名稱もまた等しく多樣多種であるが、今それを分類すれば左の六種になります。

一、宗教的團體
（イ）佛教　佛教少年團、佛教少年會、兒童教會、月曜少年會、佛教修養會
（ロ）基督教　日曜學校、日曜教會、少年團、子供會、少女會、少年少女會、花の會、お伽會
二、學校訓練の目的を達せんが爲めの團體
學友會、學友組合、學友團、兒童自治會、同自治團、通學團、通學組合、少年會、少年團、級友團學習會、兒童團、訓練會、兒童組合、子供會
三、軍事教育を目的とする團體
少年義勇軍、皇國少年團、皇道少年團
四、體育其他事業遂行を目的とする團體
登山會、體育會、消防隊、警備隊、野球團
五、普遍的目的を有する團體
少年會、少年團、少年義勇團、同義勇隊、少年少女會、少年組合、少年倶樂部、青年團附屬少年部同幼年部、お伽會、子供會、社會奉仕部
六、其他特殊の團體
若葉會、二葉會、仁義會、公正會等

以上の如く名稱が異つて居ても事業が同一のものもあれば、名稱が同一でも内容の異つたものもあつて、甚だ複雜である。殊に第六の特殊部類に屬するものは極めて多數に上つて居ります。

三、少年團の目的と事業

少年團の目的は各團體の主義綱領に記してあるが、今之を左の五種に分類して説明したいと思ひます。

一、宗教的團體に屬するもの
（目的）宗教的信仰養成、德性涵養
（事業）集會、訓話、道話、お伽噺、日曜學校、お話會、運動會、クリスマス會等
二、學校團體に屬するもの
（目的）自治的訓練、自學自修、共同心養成、校風改善、校外取締、出席奬勵
（事業）學藝會、自習會、兒童文庫、學用品、共同

購入、通學班、旅行、雜誌購讀、會誌發行、娛樂會、公德實行、社會奉仕、校內淸潔、風紀取締、家庭作業、學校と家庭との連絡、幼兒保護其他各種の調査並びに硏究等

三、軍事敎育を主とするもの

(目的)義勇奉公、軍事思想啓發、體力增進

(事業)敎訓、體操、見學旅行、展墓、神社參拜

四、特殊の目的を有するもの

(イ)目的　身體鍛錬

事業　登山、庭球、試膽等

(ロ)目的　消防、警備

事業　消防練習、交通整理、巡視、警火宣傳

五、普遍的目的を有するもの

(イ)目的　智的增進

事業　自習、文庫、讀書會、雜誌回覧、講話會、見學、實習、旅行等

(ロ)目的　體育

事業　行軍、遠足、登山、相撲、水泳、早起體操、運動、競技、共同學校

(ハ)目的　善行奬勵、風紀改善

事業　表彰、警戒、神社參拜、展墓、惡習矯正、公德心養成等

(ニ)目的　共同自治及び社會奉仕の精神養成

事業　會議、規律實行、共同作業、道路修繕共同貯金、兒童保護、交通並びに衞生思想の養成、社會奉仕等

(ホ)目的　趣味向上

事業　娛樂會、お伽會、音樂會等

四、內地の各少年團

凡そ左の通り。

(一)鹿兒島の硏明舍　世界に於ける少年團の元祖とも云ふべきは鹿兒島の學舍である。英國から態々同地にその學舍を視察に來た者があるといふ程に古い歷史を有し、秩序整然として居り、現在同市中にそれが十七舍あつて、其のうち最も有力なるものは硏明舍である。名稱は學舍といつて昔の塾のやうな感じがするが、近代語にすれば立派な少年團であつて、毎日午後五時、卽ち各小學校の放科後この學舍に集合したうへ、先づ學習をやり、それより約一時間ばかり體育の訓練をやつて、午後五時に退散するそれは少年部であつて、靑年部は中學校又は中學校以上の專門學校生徒の團體であるが、午後五時から集合して午後八時頃まで約三時間ばかり學習、體育

と夫々訓練されて居る。その指導には各學校の先生が順番に出席するが一般少年團に比較して餘程進んだ所があります。研明舍現在の人數は少年部七十名青年部四十名の少數であるけれども、其の訓育の徹底せることは驚くべき程であります。

(二)神戶の少年團　兵庫縣に於ける少年團は全國の模範とされて居る。其の團體數百數十の多數に達し、和歌山、山口の兩縣と共に評判が好い。私の視察したのは神戶市の敎育課主催の「神戶聯盟」と同市の社會敎育課主催の「神戶ボーイスカウト」の二團體である。同縣下に於ける少年團も之を分類せば前述せる如く、宗敎的、階級的、系統的となり、或は學校との連絡の爲めに組織されたるものもあつて其の說明は少しく困難です。谷口大佐を團長とせる少年團の如きは姬路の第十師團と連絡をとつて軍事思想を皷吹して居る。這んな關係で姬路のキャンプの如きも年中行事の一となつて居ります。

(三)大阪府の少年團　大阪府内には目下五十團體ありますが、玆に一ッ特殊の少年團がある。それは大阪市南區炭屋町にある「御津ボーイスカウト」であつて、之れは全く獨立したものである。商業學校出身の奥村二郎氏が一切を支配して居る。その經費は同町の資產家池島勘次郎氏が支辨し、事務所の如きも同家の一部を提供し、幹部は何れも熱心に少年團員を指導して居る。同團の特色は道場を有し隨時そこに集合して自習なり體育なりの訓練に當てゝ居ることである。尙ほ大阪府下の豐崎第五少年團は近來著しい發達で、これは學校を中心として組織され其の指導の任に在る幹部も各學校の先生が熱心になつてそれ〴〵其の衝に當つて居ります。

(四)京都市の少年團　京都市内にも多數の少年團が組織されて居るが其中最も有力なるは中野忠八氏の設立に係る京都少年義勇軍です。滿洲日日新聞社は毎年滿洲各小學校より母國見學團を内地に送つて居るが其際必ずこの義勇軍の世話を受けることになつて居る。同團は團員の選定に最も嚴を極め、幾百名かの希望者の中から百名だけ選拔して約二ヶ月間ばかり猛烈なる訓練を施すのであるが、意志の薄弱なものや身體の虛弱なものは、その猛烈なる練習に堪へかねて約四割位は落伍する。斯くてその合格者の中から更に選拔するので、結局最初一百名の候補者から四十名位入團せしむる事となり、從つて團員

の素質が全國少年團の隨一と推賞されて居る。要するに中野氏の人格と秋吉氏の熱心とが同團をして今日あるを得せしめた所以であります。

（五）**靜岡の少年團**　靜岡縣には靜岡少年團と沼津の少年團とが模範視されて居る。沼津のは岳陽少年が團稱し、本年七十二歳になる高齢の渡邊陸軍少將が團長となつて一團を指揮して居るが、渡邊團長の名望日に高まり、入團を申込むもの多く、現在一萬二千名からの團員を包擁し、熱心に軍事的訓練に餘念ないのは敬服の外ない。同團は靜岡縣下唯一の少年團として堂々たる陣容を備へて居る。

（六）**東京市の少年團**　東京市內に數十の少年團及び之れに類似せる團體があつたが、昨年九月の大震災後、一時立消ゑの狀態となり、その後漸く復活し淺草、神田、日本橋方面に不完備ながら擡頭して來て居る。私の視察した中で最も理想に近い少年團は東京市芝區田町橋會內に設置されてある「橋少年團」である。同團は學校を中心として少年の學育及び體育を指導し、併せて社會的訓練をなして居るが、主催者である細野浩三氏の熱心は驚くべきものがある設立日尙ほ淺きも將來有力なるものにならうと識者間に認められて居る。東京市役所にある東京聯合少年團も相當勢力を持つたものです。尙ほ特殊の部類として東京牛ヶ淵にある「皇道少年團」といふ日本の國體を中心にしたのもある。また東京府下にある「彌榮ボーイスカウト」も相當の練習がつまれて居る。以前三島通陽氏指導の下に生れたのであつたが現在は竹內氏の自宅に事務所を設置し、同氏が主として獻身的に努力して居る。嘉悅一郎氏の主催せる「東京千駄ヶ谷少年團」も震災後一段と洗練され東京に於ける有數のものとなりました。

以上列記した少年團は視察せる一部のもので、何れも前述の種類に屬するのであるが、指導者が一様に熱心眞摯なるは我が少年團の將來の爲めに慶賀すべき事である。我が大連少年團も各幹部の熱心なる指導によつて漸次見るべきものがある。然し此の大連における少年團を日本各地の少年團に比較して遜色なきに到らしむる迄には尙ほ兩三年間の教練を要する事でありましやう。（文責在記者）

震災壹周年記念と國民克己宣傳

滿洲社會事業研究會の克己宣傳ビラ撒布

本年の九月一日は母國の東京、神奈川、千葉、埼玉、靜岡、山梨、茨城の一府六縣に大震災のあつた一周年目で、東京と神奈川縣の横濱とが最も甚だしい災禍を受けたが、その災禍は震災に伴なふ火災が主因であつた。日本全國においては勿論、臺灣、朝鮮、樺太、南洋、關東州及び滿洲、其他苟くも日本人の居住する處においては、此の震災一周年に震災記念を行ひ、又之を國民克己デーとし、各種團體の主催又は聯合によつて、最もつゝましやかに種々の催しが行はれた。大連においても市を初め各方面において記念と國民克己とを行つた。

我が滿洲社會事業研究會にては昨年九月一日の震災直後に『此際國民の守るべき義務』數箇條を記した宣傳ビラを大連全市に撒布し、次いで十月に入るや評議員會を開いて生活改善事項を審議し、その議決にかゝる約五條を印刷に附して關東州管内及び滿鐵沿線主要地の各種團體に配布し、併せて之が實行を求めたのみならず、其際率先して『九月一日を今後國民克己デーとせよ』と提唱した。そこで一周年目の九月一日には、之を記念すると同時に、國民克己の實を擧げんものと考へ、前日の八月卅一日に左の如き宣傳ビラを大連全市に撒布した。

一、謹嚴靜肅を旨としましやう

一、仕事に一層精を出しましやう

一、宴會又は苟くも浪費に渉るやうな事は之を愼みましやう

一、食事は握り飯に梅干又は漬物位で濟ませましやう

一、男女共身廻りを質素にしませう

一、徒歩を勵行しましやう

此他虚榮、華美、贅澤に渉ることを一切愼み克己自制の念を高め何事にも眞摯、勤勉、勵精を旨としましやう、と附け加へ、猶ほ九月一日を今後毎年國

民克已デーと致したいものです、と終りの方に記して置いた。滿洲でも此日は一般に靜肅且謹嚴を旨とし、濫費浪費をなす者なく、大連の如きは腕車に乘る者さへ殆どなかつた。國民克已デーの實が擧つたわけだ。併し震災記念はその記念日だけの記念で足れりとしてはならぬ。此の當日の心持ちを飽くまで失はず、克己の實を平生に表はし、國本培養、國力恢復の一途に相率ひて猛進せねばならぬ。況んや貿易逆調、正貨減少、產業不振、不況益々深刻を加ふる今日においてをや。奢侈、贅澤、華美、炫燿の陋風を排して何事にも克己、自制、節約、勤勞を第一とし、伸びんが爲めに一先づ大いに屈する覺悟がなければならぬ。消極的の整理緊縮はやがて積極的の復興發展となつて現はれねばならぬ。

昨年九月一日の震災は、六十八萬四千四百有餘の家屋其他の建物を或は燒き、或は潰し、或はまた損し、人の被害は死者、行方不明、重輕者等を合せて十五萬六千九十餘人の多きに達せしめた。最も被害の甚だしかつた東京及び橫濱の有形的損害だけでも五十五億餘圓に上つたと云ふことだから、之れに他の被害を加へたならば、七十億乃至八十億圓の有形的損害となるべく、更に其の無形的損害に至つては實に測り知るべからざるものがある。此の一大天禍は當に戰爭以上の慘禍であつたのである。當時之を天譴と稱した者があり、又それを天譴といふは餘りに非科學的迷信であると云ふ者もあつたが、天譴と思ふ程に此の天禍を眞面目に味はつて、大正八九年以來色付けられた浮華輕佻、投機虛業及び奢侈贅澤の弊風を矯むることは、決して非科學的でも迷信でもない。國民は今後永久に此心を以て九月一日を記念し且常に益々克已自制すべきである。

我々人間は最高生物であるが、他の一般生物と等しく、常に天の惠みの下に活きて居るのだから、智識といふ人間特有の力を賴み過ぎて、天に逆らふ樣な事をしてはならぬ。如何に人智か進步し科學が發達しても、人力には自ら限りがあつて、大自然の天力に打克つことは能きない。昨年九月の大震災は明かに之を證據立てた。富貴も、權勢も、人の築いた總ての物も、悉く一擧に他愛もなく破れて了つたではないか。國民は絕えず此點を深思して人力の能ふ限り復興改善に努めねばならぬ。智力や物的慾望のみを際限なく增長さしてはならぬ。

撫順炭礦の支人勞働者（上）

高橋月南

一、從業苦力五萬人

滿洲全土に亘つて最も多數の支那人勞働者を使役して居るのは撫順炭坑である。大連の埠頭でも可なりの支那人勞働者を使つて居るが撫順炭坑に比較すれば約半數に過ぎない。此の支那人勞働者を一般に苦力と呼んで居るが、苦力の力によつて滿洲の產業が開發され、また其の文化も向上しつゝあるものとすれば、決して之を輕視してはならない。今撫順炭坑に於ける多數の勞働者を如何なる組織の下に如何に使用して居るかの一般を調べて見よう。

毎日直接作業に從事して居る支那人勞働者は二萬四五千人に過ぎないが收容してゐる實際の人數は實に五萬人に上る。之等勞働者の一進一退は直ちに作業能率に影響するので滿鐵會社では常にその訓練と待遇に努めてゐる。殊に彼等の特質又は習慣を研究して、其の生活上不安のないやうに種々の保障を與ふると共に、從來の陋習に對しては飽くまでも之れを矯正するやうに絶えず努力して居る。

支那人勞働者の產地は主として山東省及び直隷省で奉天省と吉林省が之に次いで居るが、彼等の多くは自分の姓名さへも碌に書き得ない無敎育者であつて、生活狀態の如きも殆んど原始的に近いのである從つて南船北馬常に流轉することを何んとも思はず簡易生活に馴れ、更に向上發展の氣力なく、僅かに食を得れば以て足れりとする有樣である。それで滿鐵會社では彼等の爲めに精神的訓練をなすと同時に物質的に生活の安定を與ふるべき種々の施設を講じてゐる。此くの如くにして今や撫順炭坑は支人那勞働者に取つて唯一の活動地となつた。

滿鐵會社は之等苦力を優遇するの意味に於て勞働者に一々名稱を附して居る。大體は之を上級と下級とに別け、上級は傭員、常役の二種、下級は採炭華工、臨時華工の二種とし、上級勞働者の數は一萬五六千人、下級勞働者は二萬人以上に達してゐる。此他坑内の堀進、支柱充塡、坑外の採砂、積込、積卸剝土、運搬及び請負作業に從事するものが一萬三四千人あるので、合計五萬人に上るのである。今上下兩級に大別して其の内容を説く事にする。

二、上級支那人勞働者

第一、**採用方法**　傭員には甲種傭員、乙種傭員の二種別があつて、甲種傭員の職名あるものは主として下級勞働者の指導監督に當るのであるが、炭礦のやうに多數の支那人勞働者を使役する處は、之等指導者たる傭員も次第に支那人の勞働者の中から採用する方針を執つて居る。乙種傭員も亦同樣の方法に於て採用されて居るが、その基準ともいふべき條件は(一)人物、技倆共に判明せるものは隨時傭人として採用する、(二)其他は凡て一箇年間常役華工なる名稱の下に試用し、其成績が好く、技倆も熟達したもの丶中から採用すると云ふのである。

傭人に採用されてから、成績が良好で、衆の模範となるに足るものは、次第に助手級或は小頭として待遇される。助手級又は小頭は多數勞働者の監督者となつて枝能を振ふことも出來また炭礦から優遇を受ける。それで轉々居所の定らない支那人勞働者も一旦この地に足を止めて眞面目に働き其の努力と技倆を認められて傭人に採用された者は、滿鐵會社の待遇及び其の施設の下に腰を落付け、從つて永年勤續して居るものが相當にある。這うなると彼等は自分の郷土から知己や朋輩を呼び寄せて相共に働くやうになる。之れは會社自身の能率が擧がる計りでなく日支兩國の爲めに甚だ喜ばしい事柄である。現在の五千數百名の傭員中、十年以上勤めて居るのは百八十餘名、五年以上の勤續者は六百五十餘名の多きに及んで居る。斯うした勞働者を得ることは滿鐵會社の如く設備及び待遇を好くしなければ絶對に望まれぬ事であると云つても過言ではない。

第二、**年齡の制限**　如何に身體強健といつた處で年老ひては十分働くことが出來ないため、是等は勢ひ淘汰されることになるが、現在勞働者の年齡別を

見ると、三十一歳から四十歳までが一番多く總數の五〇%を占めてゐる。勞働者としては稍々高齢の感かないでもないが、炭礦は特殊の作業を要する處で普通に狩集めた浮浪苦力では働き難い點があり、それに働く時間も嚴格である爲め、何うしても身體の强い克己心の堅いものでなければ勤まらぬ。是れ撫順炭礦の支那人勞働者に三四十代のものが多い所以である。之れに次いでの年齢は四十一歳から五十歳迄でそれが二五%を占め、二十一歳から三十歳までのものも同樣二五%である。上級勞働者になるには相當の年齢も必要條件の一つであらう。

第三、**出身地と技倆**　勞働者も出生地の如何に依つて性格が相違する。吾々日本人たる關西地方の人と關東地方の人とを比較すると、關東地方の人は忍耐力があつて意志が强いが、外交方面はから駄目で一向融通が利かない、之れに反し關西地方の人は世事に長けて商人には最も適當であるが、悲いかな忍耐力が乏しい。支那人勞働者もまた同樣で其の出生地によつて性格技術共に相違を生ずる。今山東、直隷、奉天の三地出生苦力の特徴を示せば

△**山東省出身者**　は身體强壯で、好く困苦に耐ゆる力がある爲め、如何なる苦役にも甘んじて從事し、勞働者として最も適任である。それで是等勞働者は專ら坑内作業に採用して居る。

△**直隷省出身者**　は體格に於て山東苦力と餘り優劣はないが、頭の働き方がいゝので、主として機械や技術を要する方面に使役されて居る。同じ勞働者でも稍々高等の部に屬するのであるが惜しいことには根氣と忍耐力が非常に缺げて居る。性質も山東苦力のやうに從順でない。

△**奉天省出身者**　は山東出身者と直隷出身者との中間性を帶びてゐて、別に之れぞと云ふ特徴はないが、間斷なく根氣好く立働らく。現在使役されてゐる方面は主として坑外作業である。

第四、**勞働時間**　支那人勞働者の中で既に傭員に昇進したものは、會社の一般傭員規定によつて勤務する事になつて居るから、日本人の傭員と何等差別的待遇はない。その出勤を日勤、二班交代、三班交代の三種に分ち、日勤者は平均八時間の勤務であるが、唯だ二班交代のもので晝の出勤者は十時間、夜の出勤者は十四時間の割合になつて居る。然し夜勤者には別に夜勤手當を支給し、そして日勤と二班交

代とを順次交替する事になつて居る。

勞働時間は勞働問題中の一問題で、日本內地の一工場では十時間制を短縮して八時間制を實施して居る向もあるが、然し日本人勞働者と支那人勞働者とを同一律に見ることは出來ない。第一支那人の勞働能率は非常に劣つて居り、同じ十時間働いても日本人の作業能率とは比較にならないから、勞働時間の短縮は問題である。まして時間觀念に乏しい支那人に對しては尙更の事である。それに支那人は日本人と異つて著しく物質慾が激しいので、勞働時間の如きは殆ど問題とせず、時間が長くても實收の多いのを望んでゐるから、滿鐵の撫順炭坑では是等の事情を能く參酌して其の勞働時間制を樹てゝ居る。支那人勞働者に迂かり時間短縮など話すと彼等は賃銀を減ぜられはしまいかとの疑惧心を起す。この觀念は今遽に矯正し難いが、炭坑者當局は此の時間觀念と彼等の生活及び慣習を漸次に改めて、光明ある前途に誘くべく努めて居る。要するに彼等の智識と能力が向上しない限り時間短縮問題は言ふべくして行はれざるものと謂はなければならぬ。

第五、勞働賃銀　賃銀は出來高計算の爲め一樣で

ないが、年數の經つたものや、作業に熟達したものや、夫等に從つて夫々給與されて居る。最高の賃銀は一日二圓四十錢、最低三十錢で、平均すると一人の賃銀は六十錢位に當る。この三十錢といふのは職工手傳とか小使等の幼年者の給料で、三年以上も勤續した者は一日の賃銀五十錢位になるが、昇給は每年四月と十月の二回で、監督者の申達した中から係員が更に詮衡して昇給せしめるのであつて、その金額は一回につき平均三錢以內である。

以上の外、坑內の作業に從事して居る勞働者に對しては入坑手當を支給し、硫酸工場、火藥製造等に從事せるものには危險手當といふ名義で日給以外に別手當を給與してゐる。更に甲種傭員は日本人同樣日曜日と祝祭日を公休日とし、而も此間の日給を支給する。乙種傭員には三大祝日だけを公休日と定めてあるが、全月無缺勤者には特に賞與として二日分の日給を支給し、斯うして一面彼等を奨勵し、他面炭坑內の作業能率の增進を圖つて居る。

第六、救濟と保險　由來礦山の勞働者には一種の坑夫氣性ともいふべき亂暴な殺伐な氣風がある。使用側に於ても彼等を冷遇する傾向があつて、事業主

と勞働者との間に謂ゆる温情といふものが全く缺けてゐる處から、遂に忌むべき勞働問題を惹き起すのである。然るに撫順炭礦は滿鐵會社において一切を直營してゐるので、痒い處へ手が屆き、此間人情味も加はり、若し勞働者が病氣、負傷、死亡、癈疾等の災厄に罹つた時、之を救濟する爲め勞働保險制度による相互組織の必要を認め、明治四十二年五月に傭員救濟規程を制定實施することになつた。傭員になつた支那人勞働者は、强制的に之れに加入せしめ日給に應じて之を五級に分ち、毎月醵金して此の救濟事業を繼續して居る。然し毎月の掛金は極めて零細のものであるから、若しも多數者の公傷者を出し規定の保險金に不足を告げた際は、滿鐵會社において之を補足する事になつて居る。平素に於ても積立保險金に均しき金額だけは補給して此の救濟事業の目的を達成すべく計つて居るのである。尙ほその給與規定の概要を摘記すれば………

一、業務に起因し病傷に罹りたる場合は傷痍の程度により夫々公傷手當を支給するは勿論治療の實費を給する外更に治療中日給金額を給す。

二、業務に起因せずして傷痍を蒙りたる時は治療實費を支給し尙ほ引續十日以上に亘る時は日給の半額以内を給するものとす。

三、家族者にして病傷したる時もまた之れに對し其の治療費の三分の二を補給す。

四、職務上の病痍に起因するに非ずして死亡したるとき又は病傷の爲め業務に堪へずと認められ許可を得て退職するときは其の勤務年限に應じて救濟金を給與する外死亡せる者には更に日給百八十日分以内の金額を遺族に給與す。

五、退職の場合は本人の醵金の全額に相當利子を附したるものを退職手當として支給す。

第七、生活狀態　彼等勞働者の收入は前記の如く最高日給二圓以上の支給を受け、尠なくも一日平均六十錢餘の所得があるので、山東、直隸、奉天等の地方で是まで農業をして居たもので炭坑の勞働者となつた者は、何れも其の生活狀態の好くなつたのを喜んでゐる。夫れのみならず、會社は彼等の生活安定を圖るため社宅を給與し、更に彼等が日用消費する雜貨を組合組織を以て廉價提供して居るので、彼等の生活狀態は益々良好に向ふのである。

一、社宅の貸與は一部通勤者を除き他は總て會社所

屬の社宅又は會社と協定せる南滿興業株式會社の社宅を最も低廉なる家賃を以つて貸與して居るのであるが地方の農家などに比較すれば遙かに淸潔にして且つ構造が能く整つてゐる。

二、尙ほ社宅において消費する燃料石炭は地元でもあり一般者に販賣する價格よりも約三割安にて購入することが出來るやうになつて居る。

三、日用品の供給に對しては會社が一般從事員の爲め組織せる消費組合に是等勞働者をも加入せしむる結果として市價よりも遙かに低廉なる食料品を始め日用雜貨の廉賣を受けて居る。

撫順炭坑の支那人勞働者は斯くの如き特典に浴して居るので、彼等の日常生活は地方農民よりも良好で、相當の貯蓄をなし、概して平穩な生活を營んで居る。隨つて日本內地に見るが如き勞働爭議の起る間隙はない。夫れに會社が彼等の生活安定策の一として與ねた特典は支給さるゝ賃銀の換算保證である彼等は永年の習慣として金貨より銀貨を尊重するので、賃銀は悉く小洋で支給されて居るが、銀價の變動甚だしく、往々不慮の損害を蒙ることがある爲めそれで會社はその保證をなす事になつたのだ。之れは會社としては彼等のために多大の犧牲を拂つてゐるものであつて特筆すべき事柄である。

第八、常役華工　常役華工は前に述べた通り傭員となる資格があるもので待遇も好い方である。今この華工の年齡別を取調べて見ると、十五歲より二十歲まで五二%、十一歲より三十歲まで三〇%、三十一歲より四十歲まで四〇%、四十一歲より五十歲まで二五%で、賃銀は最高一日一圓五十錢、最低十八錢一人當り平均率は四十錢强になる。

爰に一つ傭員と異なる點は、傭員に於ては月末支拂ひであるが、常役華工は二十工數を以て一支拂ひとなる事と、常役華工は共濟會員となる資格がないので、救濟に關しては傭員程の恩典に預ることが出來ない點だ。そこで會社は彼等の爲め別に救濟規程を設け、業務に因る災害のときは勿論、業務に因らない災害のあつた場合でも、自己の怠慢によらざる限り、夫々救濟の途を講じ、死亡の場合は遺族に弔慰金を與へ、傷痍に罹つたものには入院治療せしむるなど、到れり盡せりである。斯くの如き待遇は滿鐵ならでは出來ないこと勿論である。

在滿朝鮮人の敎育施設

在奉天　田原漢東

一、鮮人敎育の沿革

滿洲に於ける朝鮮人子弟の敎育施設は、大正七年以後從來個人が經營して居た一部の學校を朝鮮總督府及び滿鐵會祉が分擔的施設に改組し、學制の上にも經營の上にも刷新を加へてから、多少學校としての面目を一新した樣である。然かし此等は滿蒙全體の朝鮮人敎育施設から見れば九牛の一毛にも當らず他の多くの鮮人敎育機關は往時の舊態を革めず、何等の進步もなければ改善もなく、僅に時代遲れの寺小屋式敎育を授けて居るに過ぎない。

抑々滿蒙に於ける鮮人子弟の敎育施設は何時頃から出來たかと云ふに、勿論一定した學制が施行されて居た譯でも無ければ、之れを統制管理する機關とても無かつた時代の事なので、其の沿革を詳細に究めると云ふことは極めて困難に屬する。殊に植民地敎育の通弊として、就學兒童の增減が甚だしいのと半途退學者の多いのとで、折角創立した家校も廢校の運命に陷つたものが多く、興亡變遷が烈しかつた爲め、科學的に正しく調査する事は殆ど不可能である。然し計數的方面は別として滿蒙に於ける鮮人敎育が宗敎方面から起源して居る事だけは疑ひの餘地なき所である。現に日本の勢力の及ばない僻遠な支那領土内に移住して居る鮮人部落では、各種の宗敎が附屬事業として子弟の敎育を司つて居るが、最も貢獻したのは基督敎で、次に濟愚敎、老敎會、長老派敎會等の宗敎團である。此等の各種宗敎は布敎の傍ら子弟に諺文及び漢文を敎授した。

之が鮮人敎育の嚆矢であつて、其後各地の篤志な鮮人によつて公共的に私塾が設けられ、又は朝鮮人會の附屬機關として敎育部を設ける等、漸次發達し來り、更に朝鮮總督府及び滿鐵會社より經費の補給を受けて規模を大にし、敎授科目も諺文漢文の外に國語、算術、日本語、支那語等を追加する等種々の

改善が加へられてから、漸次學校としての本質を備へる樣になつた。次いで大正七年朝鮮總督府は滿鐵會社と共に其の一部既設の學校を分擔的施設に改組し、比較的進步した學制の下に經營を持續する事になつたが、之が今日の公立學校である。以上が先づ歷史とも沿革とも云へば言ひ得るだらう。

二、現行學制の一班

沿革に關する概要は前述の如くであるが、現在行はれて居る學制に就いて見るに、其の多くは朝鮮總督府が朝鮮で施行して居る學制を適用し、敎科書も朝鮮總督府學務課で編纂した國定敎科書を使用して居る。卽ち修業年限は六箇年で、學齡も一定して居るが、何分土着民の敎育で無いので、學齡の制限は容易に行はれず、從つて特に學制は嚴行して居ない學科目は修身、國語、算術、朝鮮語、支那語、圖書綴方、書方、唱歌、體操の十科目で、之れも朝鮮に於ける初等敎育と異なる所なく、異なる點は支那語が一科目ある丈である。此等は前記の公立に屬する學校で此の外に猶ほ私立の書堂と稱するものがある之は朝鮮總督府や滿鐵會社と何等の關係なく、地方地方の朝鮮人會或は居留民會が公共的に其の經費の一部を支出して在滿朝鮮人子弟を敎育するのであつて、學制の如き全く一定して居ない。學校に依つては初等敎育に重きを措くもの、實業敎育を本位としたもの等種々雜多であるが、其の多くは諺文、漢文國語、算術等を科目として居る。生徒の授業科は全然免じてあるが、滿鐵會社及び朝鮮總督府の補助を受くる公立學校は兎も角、此等の恩典に浴しない學校は子弟の保護者が各自分擔醵出して居るから、間接に授業料を徵收して居る樣なものである。

現在經營して居る滿蒙各地の學校は前記の樣に公立學校と私設學校に二分することが出來るが、朝鮮人の向學心が發達するに隨ひ、必然の要求として中等敎育機關の施設が叫ばれるに至つた。之れに鑑み奉天普通學校は其の前提として特科部を設け、商業簿記科、英語科、地理科等を追加し、已に初等敎育を修業した子弟に對し實業敎育を施す目的の下に之れを開始した。然るに之れは昨年度から廢止されて了つた。蓋し滿洲各地には滿鐵會社の經營する各種の中等敎育機關が完備し、猶ほ實業敎育機關としては特に實業補習學校が設けられて居るので、此等に

就いて修學すれば良いと云ふ理由の下に撤廢されたのであつた。然し這は早計であつた。滿蒙に居住する鮮人の多くは無資産階級者で、奉天普通學校に設けた特科は學費が僅少である爲め、是等無産者の子弟も容易に入學し得らるゝも、滿鐵會社の經營する中等學校に入學するとすれば、相當の學費を要する關係上、裕富でない子弟の入學は事實殆んど全く望まれない。此處に彼等の爲めにも等しく中等教育機關を特設する必要が存ずるのである。

三、就學兒童の現狀

前述した如く、滿蒙全般に亘る朝鮮人子弟の教育施設に對する詳細なる計數的調査をすることは少しく困難であるから、局部的ではあるけれども、茲には奉天領事館管内の各學校に就いて其の創立年月日就學兒童數及び教員數を表記しやう。

學校名	創立年月	兒童數	教員數
奉天普通學校	大正九年一月	男一七九 女七七	男七 女二
東聖女塾	大正十二年一月	女三八	女二
新興學校	大正七年九月	男八一 女三四	男二
明新學校	大正九年四月	男二四 女二八	男二
朝大學校	大正十年二月	男一三 女一二	男一
新永信學校	大正十年十一月	男三三	男二
撫順普通學校	大正十年九月	男一二五 女二二	男二 女一
東社普通學校	大正七年五月	男五五 女二三	男一
東倫學校	大正十年八月	男四二 女六	男二
營盤書堂	不詳	男一三 女五	男一
前甸子書堂	不詳	男一四 女一	男一
東鮮學校	大正十年一月	男三七 女―	男二
東明學校	大正十一年八月	男三九 女―	男二
興京普通學校	大正十年二月	男八五 女二八	男二
三道齋	大正八年九月	男二五 女―	男一
東昌塾	大正九年九月	男一六 女―	男一
四氏堂	大正五年十月	男二一 女―	男一
大成齋	大正八年八月	男二一 女―	男一
朝陽齋	大正九年十一月	男三	男一
一清堂	大正六年一月	不詳	不詳
育英齋	大正七年二月	不詳	不詳
誰新齋	大正八年二月	不詳	不詳

以上は大正十二年末現在調査のもので、就學兒童數は男八百十六名、女二百六十四名、此等を敎養する敎師が三十七名である。以上の內、朝大學校、新永信學校、營盤書堂、前甸子書堂、明義堂、三道齊東昌塾、四氏堂、大成齊、朝陽齊、一淸堂、育英齊維新齊の十三校は全然私立機關で、朝鮮總督府よりも滿鐵會社よりも補助金を給與されて居ないが、其他は悉く朝鮮總督府及び滿鐵會社或は居留民會より年々補助金の下附を受けて經營して居る公立學校だ更に之れを經營及び地方別に表はすと

校名	所在地	經營者別
奉天普通學校	奉天	奉天居留民會
東聖女塾	奉天	宣理派敎會
新興學校	吳家荒	老敎會
明新學校	佟宗窩棚	張慶龍個人經營
朝大學校	北關上	長老派敎會
新永信學校	沙嶺	同上
撫順普通學校	撫順	朝鮮人會
東社普通學校	東社	同上
東倫學校	孤家子	同上
營盤書堂	營盤	居住鮮人
前甸子書堂	前甸子	同上
東鮮學校	上達貝講	朝鮮人會
東明學校	咸廠	趙泰錨個人經營
興京普通學校	新賓堡	民會
明義堂	沙寶塘	居住鮮人
三道齊	北旺淸門	同上
東昌塾	火石咀子	同上
四氏堂	四道溝	同上
大成齊	營子廟	同上
日新齊	紅廟子	同上
朝陽齊	新陽溝	同上
一淸堂	大溝	同上
育英齊	東昌溝	同上
維新齊	舊門	同上

四、經費並びに補助

奉天總領事館管內の朝鮮人子弟敎育が今日猶ほ如何に幼稚であるかは就學兒童並びに敎員の數に見ても窺知される。斯樣な狀態であるから、經費の如きも至つて僅少なもので、公立學校は朝鮮總督府及び滿鐵會社より年々相當の補助金が支給され、比較的經營が樂であるが、その他のものは一定した經費の捻出法が無いので、常に經營難に苦しめられて居る中には基金さへも無いのがあつて、是等の學校へは子弟の父兄から敎員に對し謝禮として年に玉蜀黍何

石又は粟何石とかを贈って居るが、農作物の豊凶は此の方面にも影響し、此の幾何にも値ひせぬ玉蜀黍や粟さへ贈ることが出來ず、爲めに閉校した學校さへある。今奉天總領事館管内だけの各學校における經常費に就て見ると大略左の如くである。

（大正十二年末現在）

校名	經常費年額	校名	經常費年額
奉天普通學校	一六,三〇五円	東社普通學校	一,三〇〇円
東聖女塾	六〇〇	東倫學校	一,一八〇
新興學校	七九三	東鮮學校	四三〇
明新學校	三三〇	東明學校	四一八
朝大學校	八九〇	興京普通學校	二,三二四
永信學校	九一二	撫順普通學校	三,五〇〇
合計	一二校		二八,八〇二圓

公立學校及び私立學校二十二校の中、比較的基礎も鞏固であり一定の經費豫算を立てゝ經營して居るのは如上の十二校で、他は悉く玉蜀黍や粟等の物品を報酬として贈る部類に屬するものである。然かもこれ等の十二校の總經費が僅かに二萬八千八百二圓即ち一校平均經費が二千四百圓に過ぎない所を見ると、如何に其の消極的なものであるかゞ窺知される

猶ほ以上十二校の中、朝鮮總督府並びに滿鐵會社から給與された補助金は何程であるかと云ふと、此の補助金は固定的のもので年々改廢されるのであるが大正十二年度の各校補助金は左表の如し

校名		補助金額
奉天普通學校	滿鐵 總督府	一,二〇〇 八,〇〇〇
東聖女塾	總督府	三〇〇
新興學校	總督府	二四〇
明新學校	總督府	一七〇
撫順普通學校	總督府	一,〇〇〇
東社普通學校	總督府	三三〇
東倫學校	總督府	二五〇
東鮮學校	總督府	一八〇
東明學校	總督府	二〇〇
興京普學校	總督府	九〇〇
小計	滿鐵 總督府	一,二〇〇 一一,五六〇
總計		一二,七六〇

即ち二萬八千八百二圓の總經費に對し朝鮮總督府並びに滿鐵會社から一萬二千七百六十圓を補助して居るのである。猶ほ奉天普通學校は本年度から校舍狹隘の爲め分教場を設け又教員二名を増員した爲め

此れに依る經費の膨脹に對し、之れが援助として本年度から補助金を二千四十圓に增加し、猶ほ奉天居留民會からも多少補助する事になつた。從つて本校のみは經營が比較的容易であるらしい。

五、鮮人敎育の今後

奉天地方に於ける朝鮮人の敎育は、前述の如く不規則な制度と不完全な施設の下に經營され、進步も向上もなく、十年一日の如き有樣である。在滿鮮人の增加と朝鮮人の向學心とは相俟つて學制の統一と經營機關の確立を冀望する事久しく、朝鮮總督府及び滿鐵會社も本問題に對しては特に留意考慮を怠らない。這般奉天で開催された滿鮮領事會議でも、本問題は單に地方の發展、移民の將來に關係するのみでなく、延いて國運の消長にも影響する處が尠くないとの衆論であつたが、而も謂ゆる議論倒れとなつて遂に具體案を見るに至らなかつた。

元來滿蒙に居住する朝鮮人の大多數は農民であつて、農作物の豐凶如何は直ちに彼等の生活に影響しこれが爲め生活が兎角安定しない。從つて一定の地方に永住する事が出來ない。又其の大部分は無智無學の徒で多くは敎育の眞價を知らないから、如何に立派な學校を開設しても、之を有利有益に活用しない。そこで當局者としても此の實際事情から割り出して徐々に敎育施設の擴張及び向上を圖る方針を採つてゐる。然し近年鮮人子弟の向學心の發達したことは爭はれぬ事實で、奉天普通學校の如き本年の新學期は定員八十名に三倍するの入學志望者があつた本年は校舍の關係で定員を入學したに過ぎなかつたが明年度は少くも百名乃至百二十名を入學させる丈の設備を要するとの事である。斯樣に年々就學希望者は激增して居るが設備及び經費の關係で彼等の志望を充分に滿たすことが出來ずに居る。過日も奉天總領事館は奉天地方事務所と本問題に就いて種々研究したところ、滿鐵側では多少の補助はするが滿鐵會社の經營に隸屬されることを避けて居り、一方朝鮮總督府も年々の補助金捻出にさへ困惑して居る位であるから、更に多くの經費を投じて積極的に施設することは到底不可能と云ふべく、結局現狀維持と云ふ事になつた。然し現狀維持では到底納まらない趨勢を示して居るから、在滿朝鮮人敎育問題は今後益々重大となつて行く事であらう。

市長と市議員

◉村井啓太郎氏は大連市長を辭して滿洲銀行頭取となつた大阪朝日新聞記者、滿鐵地方課長、大連市長、滿洲銀行頭取と氏の生涯も波濤に富んで居る◉行くとして可ならざる莫しだが頭に立つものは常識があつて融通が利きさへすれば何うにか遣つて行ける村井氏の滿銀頭取は未知數だが不適任でもあるまい◉改制後の自治市政を引續き村井氏に遣つて貰ひたかつたが退いた以上は仕方がない改制後の市の自治行政を統べる市長は餘程確かりした人物が必要だ◉全部民選の市會が何んなものに成るか此の市會の内容實質如何は自治市政の消長に關すること極めて重大である◉土着的の相當な適任者が擧げられる事とは思ふが選擧權を握つて居る市民は一票を投ずるに十分念を入れて貰ひたい◉村井氏は滿銀頭取となると共に市會議長となるべく選擧場裡に乘出すといふ噂もあるが何うか知らん併し村井氏なら市會議長として蓋し適任であらう◉そこで三代目の大連市長は誰だらう市長を選擧するのは市參事會の役目で市參事會は市會議員に依つて組織されるのだから市會議員の選擧が濟んだ上でなければ決定さるべき筈はない◉それ迄は助役伊佐壽氏が市長代理を務めるわけだが市長の人選如何も改制後の自治市政の消長に關するところ至大である◉既に弗々その候補者の名前が新聞紙に載せられ又手早く推薦運動や自己推薦運動に取掛つた者もあるらしい◉東京あたりや郷里にぶら／＼して居る滿洲關係者を引張り出さうとして居るものも有るが成るべくは滿洲に腰を落付けて居る土着的人物を市長に擧げたい◉見様に依つては滿洲に市長の適材が有るとも無いとも云へるが肩書や階級などに捉はれないで虚心に物色したら滿洲にも市長の適材なきに非ずだ◉我國の自治行政には非常に惡い弊害が浸み込んで居るが大連及び旅順の市政には此事なきやう十二分に注意したい◉それには市會議員の選擧と云ふ第一歩を誤らぬ樣にすることが大切で次には市長の人選を愼重にすることが大切だ◉旅大市政を風袋ばかりで内味のない物にしてはならぬ内味を好くしやうと思はゞ市會議員に實力と人格の備はつた者を撰擧するのが何よりの必要條件だ◉同時に紐育の市政調査會のやうな市政監督機關を民間に設けることも必要だらうと思ふ。

社會問題彙報

鮮人勞働者の內地移入增加

日本全國に於ける勞働失業者は最近財界の影響に依つて各種工業不振の結果益々增加を示して居るが一方朝鮮人勞働者は一箇月平均七百乃至九百名宛の增加を見て居る而も需要者が多いために鮮人勞働者は昨今引張凧の有様である現在內務省の調査に依れば昨年震災以前の統計には鮮人勞働者數十二萬七千餘人であつたが震災後の十二月調査には激減して八萬〇十五人となり一時東京横、濱には其影を認むること極めて少數であつた然るに本年八月末の現在調査に見ると全國の總數八萬九千四十二人（內東京四千百五十三人、大阪三萬〇六十七人）で昨年末に比し一箇月平均一千名以上の增加を示し尚次第に渡來者を增しつゝあると云ふ有樣で是等鮮人勞働者は何れも技巧を要する仕事には全然不向きにて智識力を必要としない方面に使役さるゝものが多く其の最も多數なのは土木建築業者の雇人即ち土工にして其數二萬二千餘人、工場雜役七千人、行商人一千四百二十餘人等が主なるものである又女工は現在一萬三千六百餘人ありて多くは紡績工場等に使傭されて居るも其のうち配偶者あるものは僅に九百五十八名ばかりであつて他は何れも獨身者である。

之れが爲めに風紀に關する問題が非常に多い模樣である彼等の賃銀は其の少數には內地人同樣の資格を持つものもあるが大體において內地人勞働者より二割乃至五割安の標準であるから需要の道は增加するばかりで內務省當局も此の失業問題の矢釜しい折柄內地人として彼等の侵入に對して何等かの方策を施さなければ將來由々しき問題を惹起しはせぬかと非常に憂慮してゐるとの事である。

滿鐵社員の家計調査開始

滿鐵社會課が實施する社員の家計調査は愈愈此の十月一日より着手することになつた方法は日の出町倶樂部、近江町倶樂部、沙河口倶樂部の三箇所を中心とし先づ調査承諾家庭（各百戶）に家計簿を每月初めに配付すると配付を受けた家庭はそれに一日から三十日までの其の日の金錢其他の出納を記入して行つて六箇月を以て本調査を終るとして居る記入方法には家計簿には絕對に氏名を記入させず一旦手許を離れたが最後多數の帳簿とごつちやにされて誰のものとも判らぬ仕組であるから安心して有りの儘を臆する所なく記入する事が出來るのだ金錢物品の出入は收入欄に五十圓、主人本月分日給五圓、妻裁縫內職五圓、鰹節切手S氏より謝禮、十二圓質入借金、六圓母より借金等と金額は勿論何人の收入か何時の收入かを記入する支出の時も斯くの如く記入し金錢でなく質物が這入つて來た時には例へばロシヤ飴一罐K氏より九十錢、子供夜着一枚隣りより七十錢、珈琲茶碗來客より三圓位、卵一箱H氏より五圓と記入し之等の貰つたものを更に他へ贈る時は例へばH氏より卵一箱K氏へ病氣見舞といふ風に記入する金錢支出の備考欄は來客、出產、病氣、月賦等詳しく書くこと等が注意されて居る。

斯くの如くであつて此の調査の前途は可成り困難なことが豫想される併し飽くまでも遂行すると社會課は言つて居る夫れ等が全部纏つた六箇月後には滿鐵事務員、現業員、職工の三種類の實際生活狀態の一覽表が調製され生活の標準が如何なる處であるか判明すると

同時に如何なる方面に缺乏、不足、不滿といふものが存在するか發見され社會課としては今後の策の立方が解る筈であり社員はそれら調査された生活の中に改善すべき點を發見し得られる筈である合理的な生活を營まんとする者はこの十月一日から別に個人で家計簿を作り滿鐵から發表されるものと比較對照して見ることも有益な仕事であらう教養ある大連の主婦たちは斯んなことに充分興味を寄せて見るがよからうそれはまた軈て生活改善の資料にもなることが多いに違ひない。

理化學智識の普及と其機關

正しく誤りなく生活することは何處でゞも何時でも必要缺ぐべからざるものである所がそれを指示するものは知識經驗であつて其の知識と經驗の中にも凡そ二つの種類がある一つは精神科學又は哲學的の主として精神及び道德の方面のもので他の一つは科學知識だ其の中でも理化學の知識が特に主要位を占めるであらう精神科學の方のことは暫らく措いて云はぬとして所謂文明國と稱せられる中で露西亞を除いて日本ほど理化學知識の普及して居ない所はあるまい云ひ換へれば獨、墺、英米、佛等の國民は著しく理科學知識に富んで居り就中獨逸は其の首位に居る何うしてそれ程に發達したかと云へば或は大學の力もあらう或は新聞雜誌の力にもよらう或は公立工業試驗所の働きにもよらう然し祚つけた窮屈な官公署又はそれに類する所では如何に民衆化して居るとは云へヤハリ幾分の遠慮も氣詰まりもあつて廣く利用されて居ない且そんな機關をよく利用してよい結果を擧げ得るものは主として生產者側と販賣者側の人々であつて一般多數の消費者は之を利用する機會が尠く從つて恩惠を蒙ることは極めて薄い。

それでは何が最も有力な機關となつて居るかと云へば簡易なと云つても相當設備の整ふた云はゞ民衆的の私設理化學相談所が其の任を務めて居る私設理化學相談所とは軈て私設藥局を指すのである此處ではソースの良し惡しからバタやパンの品定め用水、牛乳、菓子の鑑別さては家庭藥品や化粧品の成分調べなごと殆ご有りとあらゆる日常生活上の理化學的の相談に應じて居る此處は草鞋履でゞも鳥渡朝飯前にでも氣輕に驅け込んで依賴が出來る藥局では直ちに儲けにはならぬのみが常座は聊か面倒であつても斯うして置けば結局は華客になつて賈へて儲ける時が來るので快く試驗してくれるそれで利用は廣まり利用が廣まるだけ理化學知識は普及する事になるその偉大なる効績に報ゆべく伯林市に於ては人口一萬人につき一藥局を許し國家は其の利益を保護して居る洵にさもあるべき事である更に獨逸著名の化學者は多くは此の藥局に關係のある藥劑師であることに想ひ到るとき一層理化學の發達普及が藥局の發達に俟つ所の甚だ大きいのに寧ろ驚かされる福岡市に於ても斯の種の試驗研究室を整備した藥局をせめて一つでも設けたいものだと努力して居るけれども仲々金が集まらぬので困つて居るが二三年中には兎も角も實現するであらうとの事だそれにしても此種の藥局を我國の各都市並に農村にも設けられる樣にしたいものだ。

滿鐵家庭研究所の改善事業

滿鐵家庭研究所は在滿邦人の生活改善の策源所として先つ服裝方面の改善を助長さす爲め各種の繼續的講習會を開催し今や既に其の第二期を開始した講習科目はミシン、和服、編物、刺繡等で何日にても入會することが出來て社員家族たると社員外婦人たりとを問はず收容力の許す限り入會させて居る實習科三箇月を修了すると一通りの技術を覺ゆることが出來るが希望者は引續き研究科に（技倆の

あるものは最初から研究科に入つてよい）入り高等の技術を覺ゐながら副業をする仕組になつて居る副業に就いては一方込入つた仕事の出來ぬ人の爲めに砂糖袋貼り雜巾若しくは刺等の簡單なる副業も作られてゐる。

猶ほ女中拂底の大連家庭の便宜の爲めに派遣婦といふ一種の考案が試みられて居るが之は女中に困る方が一時派遣婦の派遣方を申込み一定期間内は派遣婦を使つて其間に女中を世話して貰ふ仕組である派遣婦には研究所が給金を支辨し研究所が傭主から一日金八十錢を徵することになつて居るので一時の間に合せには頗る都合がよい研究所では派遣婦の如き人員に制限のあるものに申込みが多くては困るが他の講習會や副業等に就いては充分に利用して貰ひたいと言つて居る。

活動寫眞の教化的善惡兩面

活動寫眞が實際に於て社會敎化に大なる力あることは何人も否定する能はざる所であらう併し社會敎化の力は之を認めるが惡化の方が多く善化が殆どないと非難する人が少くない少年犯罪の中には活動寫眞に關係を有つたものが非常に多い例へば活動寫眞によつて頗る巧妙なる犯罪の方法を知り之を實際に行はんとするもの又は活動寫眞見たさに家の金を盜み出すもの活動寫眞に出入りする處から不良少年と知り合つて知らず識らずの間に不良少年の群に入るもの等數へ來れば幾つでもある併し又單に惡化の方面のみを見て活動寫眞は一切少年少女に見せしむべからずと云ふのは酷である卽ち映畫の感化は惡化のみでなく善化もあるのである處が善の方面が一般に知られないのである特に敎育事業のために作成せられたるものであれば兎も角一般營業者の作成したる映畫の總べてを敎育的にのみ見やうとするのは無理な註文である。

活動寫眞は娛樂であるが其の娛樂によつて敎育する事も出來るのであるから兎も角も社會敎化の上から見逃すべからざるものであると思ふ大正十一年十月の調査によれば我國における常設活動寫眞館の數が百に近く映畫を說明する辯士の數が九百八十八人あるから一館約十人の割合である辯士の善惡は直ちに觀客に善惡の影響を及ぼすものであるから辯士を選ばねばならないことは云ふ迄もない尙ほ其の時の調査によれば九百八十八名の辯士のうち專門學校を卒へて居るもの丶數が僅かに二十名內外であつた敎育のあるものが必ずしも善いとばかりは言へないが同じなら敎育のあるものゝ方がいゝことは勿論だ次に映畫が平凡で何の變化もないものを辯士が種々と說明をつけて畫面を俗惡化する例も決して少くない殊に新婚の夫婦などの畫面に對しては思ひ切つて甘つたるい聞くに絕へない樣なことを平氣で說明し觀客中の靑年男女を喜ばしめやうとするが如き辯士もあるが之れは考ゐ物であらう社會敎化のために活動寫眞を如何に善用すべきか敎育家は思ひを此處に致されねばなるまいと某氏は語る。

愈々派出婦取締令の公布

昨年來出る出ぬで問題になつてゐた派出婦取締令が今度警視廳から內務省の手に渡つて近々に許可あり次第現はれる事が確實になつたので震災以來約數千人の派出婦を擁してもぐりで營業を續けてゐた東京市內三十餘の派出婦會を始め美術家になくてはならぬモデルの周旋業者まで大恐慌のやうである元々警視廳保安課の方針では派出婦の需要は新時代と共に生まれたもので寧ろ中產階級を利してゐる點があるから保護する態度を持して來たが取締令が無いのをよい事にして土地や借家の媒介者や探偵局あたりが之を副業た營むやうになり甚だしいのは家政婦と妾との區別さへ

判明しない程に頽廢したものが派出婦にも派出婦會にも現はれて來たので眞面目な家庭で迷惑することを慮かり又一つには眞面目な派出婦を保護する爲めに財產、經歷、人物等を調查して許可せしめ若しいかゞはしい行爲をする會は營業の停止を命ずるやう詳細な規定等もその內に含まれてゐるさうな。

文部省の社會敎育奬勵方針

文部省では社會敎育の奬勵に就いて普通學務局內に一課を設けて靑年團の指導、活動寫眞フヰルムの製作、成人敎育、特種敎育等に關し着々業績を擧げて來たが何しろ豫算が貧弱な爲め理想的に仕事を遂行することが出來ずにゐた本年度の總豫算額も僅に八萬數千圓で其のうち人件費とフヰルム製作費四萬圓餘を除けば手も足も出ない樣な有樣であつたが近時社會敎育の要求と必要とは全國各地に起つて來たので財政整理が高唱されてゐる際で新規事業は殆んど見合はせてゐる文部省もこれのみは閑却することが出來ず十四年度豫算には卅萬圓を要求してゐる而してその最も主力を注がんとして居るものは成人敎育とフヰルム製作であるがフヰルム製作は今日迄の例に徵するも收支相償ひ尙幾分の餘剩を見せて國庫の收入になつてる所からこれは豫算の增額を爲しても國庫財政の上には却つて利益である而してソは從來の皇族の動靜や餘り片苦しきものに偏倚してゐたのを改めて萬人向きのもので且つ最新知識と社會道德の涵養とを兼ねたものを製作する方針である。

次に成人敎育は現に橫濱、名古屋、大阪、吳、福岡等に於て實施してゐるが其の成績極めて顯著なるものあり殊に吳の如きは數千の聽講生が聽講券の奪ひ合ひをする程の盛況を呈してゐる之れは主として最新の知識及び技能を平易簡明に且直ちに應用の出來るやうに指導するのと各自各學科を自由に修得し得られるが爲めである而して此種の講習會の申込みは非常に多いから來年度よりは半常備的のものを全國に凡そ百箇所ばかり設置する計畫でこれによつて敎育の機會を奪はれてゐる一般市民にその機會を與へんとするものとして文相始め非常な意氣込みを以て豫算の通過に努力してゐることは喜ばしいことだ。

虛弱兒童の保護救濟施設

文部省に於て調查の結果全國の小學校兒童のうち特別の施設によつて保護救濟を要する虛弱兒童は約五十萬人以上に達し而して其の虛弱兒童の多くは中產階級以下の子弟が六割以上を占めてゐる此の虛弱兒童なるものには種々なる區別があるが中產階級以下の兒童は營養不良の貧血症が多く加ふるにトラホームを初め皮膚病等の種々なる疾病を有するものが多い是等の虛弱兒童は是非とも一定期間內若しくは在學中に林間學校等の野外敎育の如きに收容して衞生を主とする特別敎育を施す必要があるものである尙ほこの外に營養食を給與して救濟すべきものも多數を占めてゐる要するに之等の虛弱兒童を救濟する方法はこれに適切なる施設を有する特別の機關に收容して救濟敎育するより外に方法はないが此の中にも全然寄宿せしめて敎育するものと通學せしめて敎育するものとを大別する事ができる卽ち寄宿を要するものは言ふ迄もなく甚だしく虛弱なるもので通學を要するものは比較的輕微なものでなければならぬ。

虛弱兒童の中でも中產階級以上の兒童で自ら保養し得る能力あるものは特に學校に於て救濟の必要を認めぬが其以下にある兒童卽ち營養も採り得れば醫藥醫療にも差支へるといふ家庭の兒童はどうしても之れ學校に於て救濟敎育せしむる責任がある樣に思はれる殊に總ての虛弱兒童のうち最も虛弱なものは多く

此の階級にあることを見れば這は一箇の重要なる社會問題として見ればならぬのである文部省に於ては是非とも是等の特別なる機關が各地に設けられることを希望してゐるが現在我國に於ける此種の機關は大坂濱寺のそれと赤十字社の經營になる茅ヶ崎林間學校のみである五十萬人からの虚弱兒童を有する我國に於て單にこればかりのものでは眞に心細い次第である此點に就いては敎育界の問題となつて居るのであるが之が實現に至つては甚だ切實でないものがあるから大いに敎育家諸氏の奮起を促す次第である文部省は現に各縣について虚弱兒童の調査を行ひこれを纒めたうへ虚弱兒童救濟に關する基礎案を作成して參考に供する筈である要するに此の問題は大半社會問題と關聯するものであるから敎育家は之等の點に注目して卒先これが實現に向つて努力且大いに劃策せらるゝことを希望する次第であると文部衞生當局は語つた。

代々木の大運動競技場開設

東洋第一を以て誇る東京府下代々木明治神宮の外苑の大運動競技場は近く完成することゝになつた此の大運動場開場第一回の全國的大運動競技會は內務省が主催となつて十一月一日より三日間に亘り大々的に擧行するのであつて之こそ我國における有史以來曾て見ざる大競技會である內務省當局は此の計畫に就いて次の如く語つた今秋開催の運動競技大會は明治大帝の遺德を尊崇すると共に年々衰微せんとしつゝある國民保健の增進に關する根本策として計畫されたもので每年引續いて開催する筈である目下は之れに對する準備中で具體案は示されない且又此の運動競技會の名目さへも決定してゐない計りでなく其の運動競技に關する方策は總べて日本體育協會其他に依囑して計畫中であつて之れに要する經營並びに萬般の計畫も未だ明かでない。

右の如き次第であるから勿論總裁を始め役員其他の決定も見ないが運動競技の種目はトラックフイールド競技各種、フットボール、ベースボール、(場所未定)、ボートレース隅田川、庭球(場所未定)、ホッケー、パレースケットボール、水泳(芝公園プール)、劍道、柔道、角力、乘馬、一般女子競技等で此他陸海軍々人の運動競技もある事になつてゐる此の大運動競技をなす明治神宮外苑の大運動場は敷地一萬坪總工費九十六萬八千三百圓を要したるもので實際は百五十萬圓以上を要する大運動場である而してこの運動場における芝地觀覽席は二千七百七十坪にしてトラックの面積は二千九百七十九坪になつて居りスタンド西側建物一階の面積は千二百三十七坪でこの觀覽席の長さは百二十間、階段數は二十六坪數九百四十一坪になつてゐる一階には事務室、選手室、醫務室、料理室、食堂及び浴室を設け二階には特別室並に休憩室を設け最下は總て賣店になつてゐる猶ほ芝地觀覽席は五萬人の見物を收容しスタンドには一萬五千人を收容することが出來るといふ大規模なものであるが斯くの如き國家的催しによつて國民の體育を增進することを切望する。

滿鐵旅客列車の圖書と雜誌

滿鐵の旅客列車には旅客の旅情を慰める爲めに列車內に圖書雜誌を用意し旅客の求めに應じて自由に閱覽せしめて居る然るに右備へ付け圖書に就いては種々非難の聲もあるので當局では如何にせば旅客の意に適ふやと各列車區長に命じて取調べ中で右調査終了と共に備へ付け圖書に大改革を加へる筈であるが右非難の聲のうちには備へ付けの圖書を三等客に貸さぬので困るなどの聲もあり右に就き滿鐵の旅客當局は左の如く語つた。

列車備へ付けの圖書は各列車とも二十册で

別に雜誌類を十五册位置き書籍は三箇月に一回、雜誌は毎月取かへて居るが其の書籍は成る可く肩の凝らぬやうな種類のものを選び雜誌類も普通多く讀まれてゐる種類を備へ付けて居るのであつて其の基本調査を三年前にやつた其後思想の變遷により旅客の嗜好も變つたと見へ最初歡迎された種類のものも昨今は全く見捨てられる樣になつたので今後は徹底的に調査して改良する積りであるが三等旅客には貸さぬなどの聲を聞くのは意外である列車備へ付けの圖書は一二等旅客にも三等旅客にも同一に貸與する事になつて居り一切平等であるから專務車掌に一言云ふて吳れゝば良いのであるが之れは車掌の方にも云ひ方が足らぬ所があると思ふから旅客の方では遠慮なく車掌に云ふて貰ひたい云々。

大阪產業部の能率增進施設

「お役所式」といふ一つの古い型から脱れて役所の事務を能率的な機能組織に更めやうと云ふので我國で始めて能率增進問題に手をつけた大阪府產業部ではいろ〳〵調查してゐたが愈々九月二十日から先づ工務課にこのシステムを實施することゝなつた之れは前號にも一寸記したが此の方法は外國のものを基礎にして夫れを過渡時代に向くやうに造り上げ課内の參考資料書類其他のすべてを前以て一つの型に整理しコントロールボールドを設備し計畫部と整理部を設けて一つの仕事を計畫すると事務指導票と進行カードを作り前者はボールドケースに後者は常事者が携へて豫定表によつてドン〳〵仕事を進めて行き五日目毎にボールドの進行とリボンを進行の程度まで引伸ばしてすべての事務の進行して行く具合を一目で見それによつてヘビーをかけそして能率を擧げやうと云ふのである。

今迄はすべての事務がその人任せでどの點まで進んでゐるかは當事者でなくては判らぬため働いてゐるのか遊んでゐるのかさへ知ることが出來なかつたが之れを實施すればそれが明かになるので此の表の遲速によつて人の配置を增減し仕事を圓滑にそして人を經濟的にその上に働きの不公平がなくなつてお互に一心同體となつて働くことが出來るから共働共苦の眞髓を發揮することを得るといつてゐるカードの造り方等も餘程研究されて或點は外國のそれよりも進んだところが有るのみかボールドのリボンは外國のものは貼り付けになつたものが多いのにそれを半自動的にした點等に新らし味がある吳の海軍工廠でもその一端を實施してゐるが進行板と豫定板と二つのボールドに區別してあるので工場經營には採用が頗る容易であるが官廳の事務にこれを採用したのは大阪府が始めてゞその成績を見た上で他にも及ぼす筈になつてゐる。

廳關東遞信局の遞信圖書館

關東廳遞信局には書庫内に藏せられる圖書か四五千册もあるが是等は殆ど死藏され局員の利用するものが少いので其の利用法に就いて考慮中であつたところ今年春櫻非遞信局長代理の歸朝後は一層その必要を感じ最近同局長代理の考案に依り遞信局内に中央圖書館を設置し獨逸の遞信圖書館の例に倣ひ地方在勤の從業員の希望に依り郵便に依り之を送附閲覽せしめる方法を開始する準備中で目下圖書目錄の製作中であるが目錄の出來次第此の郵便閲覽法を開始する筈で之れが爲めには係員等の增員も必要なれど現在の圖書數では獨立した係員を置く程でもないので當分は局内の吏員の兼務で遣り其の成績を見た上で圖書の追加購入をなし其上で獨立した郵便圖書館を開設する筈であるが之れが爲めに多大の利益を得るのは遞信從事員三千五百餘名であつて其の間接の利益も亦鮮少であるまい。

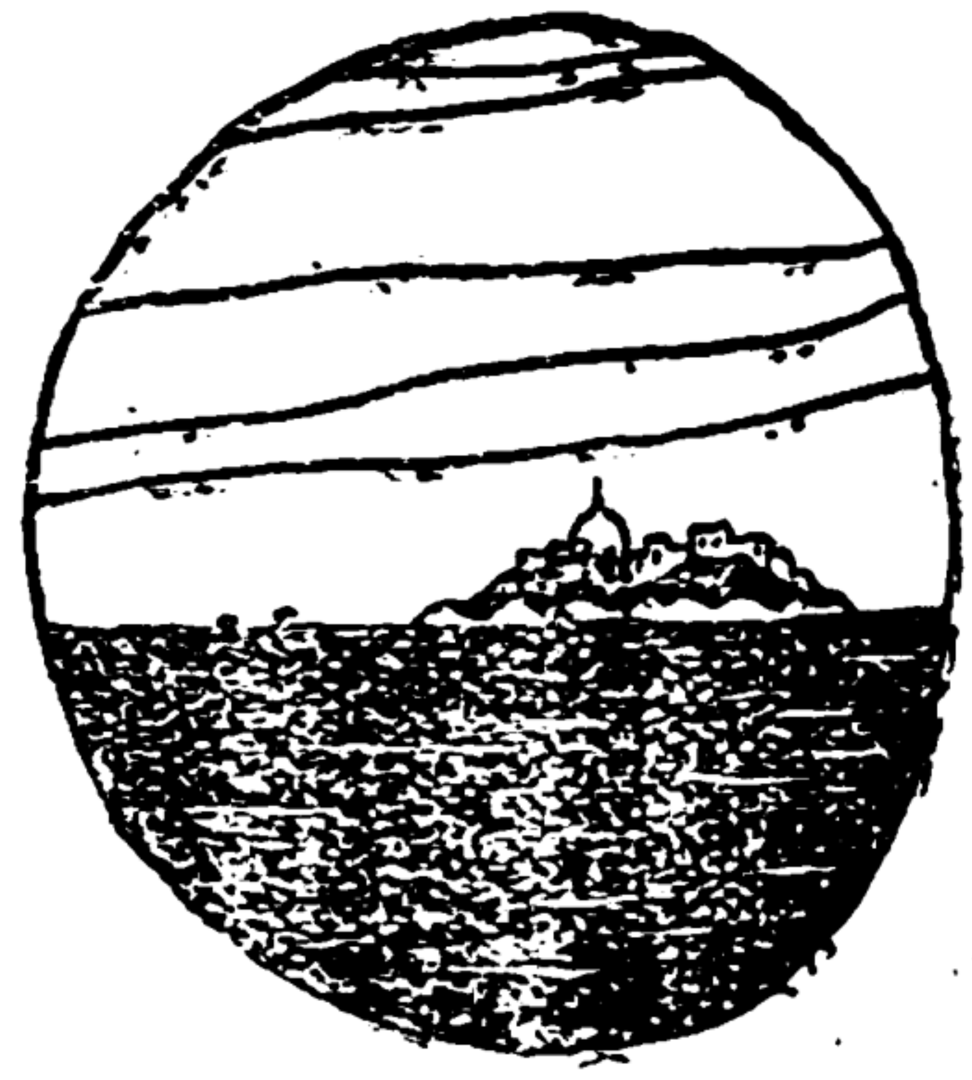
眞人乃木

◆本年の九月十三日は乃木將軍の十三年祭に當つたので種々の追慕會が行はれた◆乃木將軍は日露戰役に旅順の堅塞を陷れ奉天の最後戰にはクロパトキン軍の後方を衝いて我が包圍軍を有利に導いた◆當時ゲネラル乃木の聲は對馬海峽で露國のバルチック艦隊を殲滅した我が聯合艦隊司令長官アドミラル東郷の名と共に雷の如く全世界に鳴り響いた◆即ち赫々の武勳を樹てたわけだが併し乃木將軍に尊ふべきは其の武勳よりも武人としての典型であり僞りのない誠深き眞人間であつた點にある◆明治大帝の御後を追ふて夫人靜子刀自と共に世にも珍れなる殉死を遂げたのも誠の致すところ即ち忠誠無二の表現であつた◆子供の時は泣虫の弱虫であつた此の人が死して神と祀られる程の人物になつたのは一に克己修練の努力に外ならぬ◆古歌の「爲せば成る爲さねば成らぬ成るものを成らぬと云ふは爲さぬなりけり」は乃木將軍の一貫した信條であつた◆斯うして弱虫の無人イヤ泣人は武人の典型となり死して神と祀られ萬人憧憬の的となつたのだが幷は誠を以て始終一貫奮勵努力し來つたからだ◆ホイスビーは人物を大觀して目的家と野心家とに別けたが乃木將軍は目的家であり人格者であり至誠忠實の人だつた◆現在の我國には智力の秀でた何事にも役に立つものが多いが誠の人は少なく其の大多數は野心家であり策士であり若くは世の謂ゆる功利の徒である◆政治界が腐敗したのも事業界が紊亂したのも誠の人が少くなつて野心家や策士が時を得顏に跋扈跳梁するからである◆乃木將軍は全身誠を以て堅められてあつた人だから不義不正を嫌ふこと蛇蝎の如く國家並びに社會の公事を念としない我利の徒は最も之を嫌つた◆臺灣總督をして居た時「不義にして富み且貴きは浮べる雲の如し」の代表的人物と見られた大倉喜八郎に玄關拂ひを喰はしたのは之も乃木將軍の眞面目な處だ◆不義にして富み且貴きは眞に浮べる雲の如しだ成金や職業政治家の末路を見給へ實に其の通りぢやないか◆物慾に淡く富貴功名を念とせず貧を意とせず一意君國のために奉公した乃木將軍は肉體枯れても靈魂亡びず末代までも活きる◆乃木將軍を追慕する者は深く此點に思ひを潜めねばならぬ己れを省みずして神となつた將軍を擔ぎ廻るのは冒瀆の罪蓋

し之より甚だしきは無い◆乃木將軍に就いて更に最も注意したい點は將軍が忠君者であつたと同時に愛民家であり民衆主義者であつた事である◆薩摩琵琶「乃木將軍」の一齣に「大和心の花の數、幾萬人を散らしゝは、彼等が親や兄弟や妻子の歎きもさぞやさぞ、我兒二人を其の中に、殺せしことも我罪の、千重の一重もいやでかは、償ふ代に足らばこそ」は將軍の眞精神を語つて遺憾なきものだ◆民は皇室の赤子だ民を愛し民のために竭すは卽ち國を愛し君に忠なる所以であるとは乃木將軍の堅い信念であつた◆日露戰役終り出征の將士意氣揚々として凱旋したとき乃木將軍のみは汽車の中に小さくなつて沿道到る處に起る萬歳の歡呼を唯默々として聽いて居た◆やがて陛下に戰況を奏上するとき各將軍は何れも御稜威を以て目出たく戰勝した旨を記したが獨り乃木將軍のみは「陛下の赤子二萬有餘を失つた罪は何物を以てするも償ひ難い洵に恐縮に堪へぬ」と言上したさうな◆乃木將軍が至誠の人であり報國盡忠の念に富んで居たと同時に愛民家であり民衆主義者であつた事は爭はれない◆民を愛するは卽ち君に忠なる所以だ民のために竭すは卽ち皇室を尊び君國に奉ずる所以だ民を虐け民を欺き民を苦めて忠君愛國顏する奴は悉く是れ僞物だ◆戰場に在つた當時の乃木將軍は二兒の戰死よりも幾萬の君の赤子を失つた事を悲んだのだ「山川草木轉荒涼、十里風腥新戰場、征馬不前人不語、金州城外立斜陽」の哀吟は斯くして將軍の口を衝いて出たのだ◆一將功成りて萬骨枯るゝことは乃木將軍の最も好まぬ所であつた此の故に士卒と常に艱難を共にし自分の武勳や功名などは少しも眼中になかつたのだ◆乃木將軍は尊い至誠の人であつた從つて世俗謂ふところの豪傑でも英雄でもなく要するに少しも僞りのない眞人だつた◆眞人乃木之が將軍の眞價だ子供の時に泣虫であつたのも情に脆く人情が深かつたからだ◆併し將軍は決して消極的の善人ではなかつた不義不正に對しては恐しい程に強い反抗心と征服力を持つて居た◆意志が鞏固であつたから善事は必ず之を爲し惡事は必ず之を退け頗る勇猛果敢であつた◆眞は神なり眞なれば神に通ず眞人乃木が死して神と祀られたのに不審はない◆苟くも眞人を追慕し敬慕するに當りては先づ己れの心を點檢し心の曇りを拂つて眞正直にならねばならぬ。

光明臺家族會

◉光明臺とは大連市譚家屯の小高き山麓に在る金子雪齋翁の振東學社と大陸青年團本部の存ずる場所であつて市の全街と大連灣の海を一眸裡に收め得られる處だ◉仲秋三五の月の翌日早朝から此の光明臺において雪齋翁の還暦祝を兼ねた家族會が催された◉雪齋翁は奥町の泰東日報社樓上に居られた時も近江町の大陸青年團本部に居られた時も毎年家族會を開くのを恒例とした◉然るに今回の家族會は翁の還暦祝を兼ねての催しでもあり折しも天高日晶些の雲翳もなかつた秋晴でもあつたので例年に無い多數の參集があつた◉參集した人々は雪齋翁と特別の親交ある人や特殊の關係を有つた人や翁の知遇を受けた人の家族郎ち子供などであつた◉怒ると雷霆の如き雪齋翁は非常に温かい人情の持主で一たび笑ふと其の笑顔に限りなき慈悲心が顯はれる◉事ほど左樣に雪齋翁は當代には珍らしい大愛心に富んだ人であると同時に透徹した哲理眼を有し總べてを大觀する達人だ◉多數の家族者が翁の還暦祝ひを兼ねて嬉々として光明臺に集まつたのに不思議はない◉さて此日郎ち家族會のあつた九月十四日には大陸青年團本部と振東學社の全部を開放し階上階下の別なく集まり來つた人々を自由自在に出入せしめた◉斯うした場合には動もすると不紀律亂雜に流れるものだが翁の威力と感化の然らしめた所であらう少しの動搖も混雜もなくて此の家族會を終つた◉庭中には模擬店が設けられ學社の一部は餘興場に充てられて其處には能狂言長唄、筑前琵琶、浪花節及び支那歌劇その他くさ〳〵の餘興が演ぜられた◉男も女も子供も老人も一樣に和氣靄々として之を聞き且觀て樂んだのである◉主人獨り料理屋や待合に入浸りながら特殊職業婦人たる藝者を對手に低級な娛樂を事とする者の多い大連イヤ滿洲において斯樣な和氣靄然たる家族會が催されたのは非常に喜ばしい事だ◉樂みは衆と倶にし苦も亦衆と共にす而して平等に男女や老幼や貴賤や貧富の區別なく總べてと樂み且苦むといふのが雪齋翁の大人格者たる所以だ◉私も此の家族會に列して近來にない心からの愉快を覺へた◉翁も此日は頗る滿足されて居たと見へ絶へず嚴格な顏面に慈愛溢るゝ計りの微笑を湛へて衆人と應接して居られた洵に天和と人和を得た清い會合だつた。



秋の燈火の下にて

無聴房主人

或る年、北満に旅して、『喇嘛塔に夕日映ゑて雲雀落つる原』といふ一句を得た。漢詩人柳洲兄が遊びに來た時、この句を見せたら、卽座に筆を執つて『轣轆車聲嫩水東、龍城漸迫景何雄、天連蒙古多遊牧、無數牛羊落照中』の舊作を示して何うだと云つた。大陸の光景躍如たりだ。

× × × × × × × × × ×

最近朝鮮全道を踏破した田岡淮海兄が平壤よりの便りの中に『幾代興亡涙暗彈、千年惟見大江寒、西風箕子陵邊路、應作黍離麥秀看』の箕子陵口號が記されてあつた。予は海牙密使事件の起つた統監政治時代から總督政治時代まで平壤に居たので、兄の大吟に接して端なく平壤を思ひ出した。

平壤は朝鮮の舊都で、或は平穰と書し、猶ほ別に箕城、樂浪、西都、鎬京又は柳京の稱がある。地は大同江に臨んで天險を占め、東南に豐饒なる大野を控ゑ、山河の光景、やゝ滿洲に似て雄大な處がある。昔は箕子の子孫及び衞滿等此處に都し、漢が樂浪郡を設けた時は郡治を此地に置き、高麗王の如きは數次こゝに都

し、李朝時代にも一方の要鎭として重きを爲した。箕子の陵や、其の井田の遺趾や、今猶ほ平壤に存在するも、箕子が平壤に來たとは信ぜられぬ。箕子が殷の遺民五千人を率ひて山海關を超ね、蠻族を慰撫して稼穡の業を起し、そして都を建設したのは、恐らく遼西一帶の地なるべく、平壤には及ばざりしものと思ふ。併し箕子の子孫が來つて久しく平壤に在つたことは事實で、之を衞滿朝鮮と稱したが、箕子の陵は其の間に築かれたもので有らう。此の舊都の東北を繞りて蜒々帶の如く流るゝ大同江は、一名浿江と稱し、その突當りが牡丹臺だ。流れに沿ふて船橋里の勝があり、文祿の役に小西行長と沈維敬とが和議を講じた處だと言はれる練光亭があり、風光甚だ明媚だ。明月天に在り淸風徐ろに吹き來る仲秋三五の節、此の江上に畫舫を浮べて遊ぶ時は、快味言ふべからざるものがある。平壤は洵にいゝ都だ。

金仁存の大同江の吟に『雲卷長空水映天、大同樓上敞華筵、淸和日色篩簾幕、旖旎香烟泛管絃』と云ふのがあるが少しく俗だ。牡丹臺には浮碧樓があり、江を距てゝ綾羅島が隱見し、俳人虛子の創作『朝鮮』に據つて出來た『お牧の茶屋』といふ旗亭もある。『おぼろ夜や酒旗飜へる丘の上』と云ふ誰やらの句もある。牡丹臺を下り、松樹參差たる間を紆餘曲折して往けば箕子陵の在る祠の前に出られる。牡丹臺と相對して居るのが乙密臺だ。花の春、風の夏、月の秋に、騷人墨客ならぬ衆庶の嬉戲悠遊が賑ふ。

此地また日本に取りての古戰場だ。日淸戰役の折、山縣本隊は中央より、立見支隊は元山街道より、大島支隊は牽制軍として船橋里に出で、先づ馬玉昆の兵と銃火を交わた。此の戰ひに若いものが大分死んだ。船

稲里には其の忠魂碑がある。ヨッタルマルクなど云ふ戰蹟もある。但し牡丹臺の玄武門はつまらぬ物だ。之を開門した功によつて金鵄勳章を受けた原田某が戰後に持て囃されて逆上し、新俳の仲間に入つて墮落した事を思ふと、玄武門の馬鹿らしさが思はれて益々胸が惡くなる。

× × × × × × × × ×

臺灣に居つた時、『草を喰む水牛の背に囀れり』の句をものしたが、之れは實景だ。水牛は臺灣名物の一つで、農耕期に入ると、郊外到るところに水牛が放牧されて居る。草を喰みつゝある其の水牛の背に春の小鳥が止つて囀つて居る光景は、何とも言へない妙趣だ。此の一幅活畫中の水牛も、何か物に怯ゐると、殺到して人を傷殺す。自分も一度危い目に遇つた。併し常にはおとなしい動物だ。

王餘姚の啾々吟の内に『東家老翁防虎患、虎夜入室啣其頭、西家兒童不知虎、執竿驅虎如驅牛』といふ句がある。虎を恐るゝ東家の老翁は、その恐怖心のために虎に咬まれたが、無心の兒童は却つて其の虎を走らせたと云ふのだ。深い意味が潜んで居る。既に虎を走らす程の無心の兒童は、牛を自由自在に操る位は何でもないと見ゐ、何處でも牛には子供が附物だ。臺灣でも水牛を牧するのは悉く兒童だ。呉牛水を泳いで月に喘ぎ、牧童笛を取つて草上に吹く、と云ふと、之も正しく詩中のものだ。

生蕃の首棚も見た。宜蘭から奥に入つて北蕃アタイアル族の酋長を訪ねた時のことだ。折しも秋であつたので、『月白う首棚に芒伸びくぬ』の句を得て、之を同行の友に見せたら、如何にも凄味があるよと言つて

大笑した。乃木總督時代、まだ蕃務署なるものが置いてあつた當時、或る蕃社のものが亂暴をしたので、蕃務署の吏員が酋長の娘を生捕りにし、之を人質として牢屋に入れて置いたところ、其の友だちの蕃女が毎日見舞ひに來て、蕃笛を吹いて慰めた、と云ふ話を聽いたこともある。

× × × × × × × × ×

臺灣には予の終生忘られぬ畏友小松孤松兄が今でも居る。孤松兄は世の謂ゆる詩人ではないが其の漢詩は堂に入つたものだ。『鬪幾帶笑對辛盤、仰見春天瑞氣攢、半世唯憐松磊落、一家且喜竹平安、向來不傚唐風儉究竟難酬漢趣寛、話到東都災震狀、兒曹猶欲救饑寒』とは兄の甲子新年書懷だ。

臺灣には今福岡の鄕里に引込んで居る漢詩人宮崎來城、蒙古王の名を馳せた照山佐々木安五郎、信濃の水力電氣で財を積んだ王道論者の白井新太郎諸兄が居たが、相別るゝ既に二十有餘年、當時の交遊を思ふと感慨に堪へない。中西牛郎兄も居たが今は何うした事やら。漢詩人の籾山衣洲、漢學者の日下峯蓮、市村藏雪なども臺灣での友だちだが、此の三人は既に鬼籍に入つた。日下峯蓮が存命中支那の福建省詔安縣南門內源泉尙號から寄せた詩に『芸窓一別讀書樂、雲樹空傷萬里情、臺嶠交遊今四散、扭勞夢想臥愁城』『花笑鳥歌無郷言、翠揚芳草暗消魂、天涯異客相思夜、夢落楠公墓畔村』『煙靑雨細杜鵑哀、孤客懷人淚暗催、今歲縱肽桂輪好、笑顏期與菊花開』といふ三首がある、之れは亡友の遺品として大事に保存して居る。予が神戶に客寓して居たとき贈つた詩なので『夢落楠公墓畔村』とあるのだ。此人酒に醉ふと暴ばれ出し、千葉姓當時の丟

蕭疎の昔のことを偲ばせたが、元來は篤實溫厚の僕々たる君子人だつた。

行方不明となつた水桑盜泉も臺灣で深交を訂した眞友だが、盜泉の忘れがたみは『髑髏無夢到卒生、綠界萬綠清夏靖、難道江山好模樣、唯宜風雨不宜晴』の僞さ、數通の書簡と、それから彼が臺灣讀書會で講演した『支那詩の沿革』を剞劂した一冊だけだ。立派な人物だつたが惜いことをした。

數年前大連に來て大いに揮毫した高橋醇領兄は今でも臺北の濘山大悲閣に獨嘯し、雜誌『眞佛教』を月刊して獅子吼して居る。氣焔萬丈當るべからずだ。一風變つた書をなぐり、繪をものし、漢詩も作る。和尙の書いて呉れた繪と『隨流裡會性、無喜亦無憂』の書は共に幅にしてある。

× × × × × × × × ×

予は椒山楊繼盛の一幅を有つて居る。それは『斷雲一片洞庭帆、玉破鱸魚霜破柑、好把新詩繼桑苧、垂虹秋色滿東南』といふ一絶を書したもので、氣品頗る高雅だ。之れも亡友日下峯蓮の忘れがたみだ。森茂兄が滿鐵調査課を去つて肅親王の第六王子憲奎王を擁立した巴布札布の蒙古復辟軍に投じた時、予も聊かそれに關係したので、相往來してゐる間に此の楊椒山の書幅を見せたら、立派なものだと云つて、楊繼盛の行狀を書いた一冊を貸して呉れた。乃ち寫し取つて幅と共に大事にして居る。寫本の字は書家の北森松城兄が書いて呉れたのだ。淮海、柳洲兩兄も楊繼盛の事について何かと敎を垂れて呉れた。然るに此の詩の轉句『好把新詩繼桑苧』の意味が能く解らない。誰に尋ねて見ても明答を得ないのは遺憾だ。

菅茶山の『小園何處覓些涼、賴有梧陰托竹牀、午倦生眠欹棋子、一盆春韮碧波香』の古ぼけた一幅も有つて居るが、結句の春を青と讀む人もある。字が怪しいからだ。夏の情景を叙して眞に迫るを覺ゆ。德富蘇峯翁が數年前滿洲に來た時、予に書いて呉れた『滿灣秋水碧於藍、帆外斜陽島影涵、吾亦江湖一竿客、却從星浦憶湘南』も一幅として藏して居る。星ヶ浦に淹留中の作だ。

× × × × × × × × × ×

松陰吉田矩方が年齡二十八九歲のとき執事に呈した書牘も扁額として座敷の楣間に揭げて居る。此の書牘の中に『古人云、儒生俗吏安知事務、知事務在俊傑』との一節あるが、事務は時務の間違ひだらう。此の扁額を仰ぐ每に、松陰の偉材を思ひ、碌々爲すなき予の凡骨を愧入るの外ない。

× × × × × × × × × ×

書畫帖を繙く每に、先づ眼に入るのは予の師事する金子雪齋翁の『是身毋輕、宇宙卽此六尺、是心毋縱、萬有卽此方寸、是時毋愼、千古卽此一瞬』といふ訓語だ。此の書畫帖を高橋醇領兄は『入不二法門』と題し首頭に大字で巍峩と書し、更に富士山を描き、その側に一首をものした。字が解り難いので其の七言絶句をこゝに轉錄し能はぬのを遺憾とする。此の帖には淮海兄の『細雨孤店新香酒、斜湯函谷故園詩』といふ醉筆やら、柳洲兄の『只應淡泊了斯生、聒耳厭他絲管聲、風露一天郊外路、月明滿地聽蟲行』の詩書やら、片岡孤節兄の『少年曾負氣、彈鋏傲王侯、大夢豁然覺、一竿蓑笠翁』と云ふ五言絶句や、自分で作つた『筆歌墨

舞放浪の旅秋に入る』の句や、同じく自分の『筆はよし果敢なくもあれ我がこめし魂の力ゆやはか滅びむ』の拙歌や、其他知人の揮毫して吳れた種々の繪畫などが漫然雜然として載つてゐる。醇領和尙が此の書畫帖を『入不二法門』と題したのは予の號名芙峰に因んだものであらう。

閑に任せて亂抽して行くと、繪ハガキ帖などもあつて、其中に之も臺灣で交遊した渡邊風山堂兄の奇拔な人物畫や、その俳句や、一時臺南の地方法院長を務めた藤井烏犍兄の『天雲をいふみくだきていたゞきに立ちたる我は神にかもある』と云ふ新高山にてよめる和歌や、末永節兄の寄國祝『すべらぎのしろしめすなり天津日の豐榮のぼるあし原の國』や、志賀重昂翁が海外から寄せられた地史學の一斷片文などが今更の如く眼に付く。神氣の澄みわたる秋に斯うした既往の回顧も徒爾にはならない。

× × × × × × × × ×

南支周遊中、厦門から泉州への途上『日盛りを轎で行く十里搖れ疲る』『明け易き客棧に南京虫の難』などの吟あり、朝鮮に居つた時は『驢馬で來る冠り人や春の門』『儒生能く慷慨す温突の宿』『おぼろ夜を女の白う被衣して』『温突や鷄も巣立ちて桃の花』などの句があり、此の滿洲に來てからも『さゝげたる籠の囀り市の中』や、句佛上人來滿の折によめる『喇嘛寺に古佛探り花に憩ひけり』『爪長きが水煙草など店の晝囀り』『果の香著き戎克着く若葉河岸の明け』『青葉道を馬車續く埃り船着く日』『辻馬車の客走り黃砂降るおぼろ』などの句もある。さうかと思ふと、『汗を海に流して砂原の走り』『頰杖の窓に赤蜻蛉の日暮れ』『湯の戻り涼る手

拭逆立てゝ見る』など云ふ新傾向句に似て非なるものもある。

更に『王覇兎まれ舜何人ぞ河豚と汁』とか、『汗に書く賈生の机邊市の塵』とか、大いに氣取つたつもりの句もある。碧梧桐兄に會つた時、俳論を鬪はさうと思つたが、竟に罷めた。小村鳥巣人兄は今でも俳誌『アカシヤ』を主宰して居り、毎號惠與を受けるが、口語調の新傾向句には何うもまだ親み得ない。句佛上人が短册に書いて吳れた『秋は高粱の畑車馬の行くうらゝ』と巖谷小波兄の『海苔輕うあぶるや白き指の反り』の短册は客間の柱に掲げてある。日本の特有詩俳句もいゝものだ。

×　×　×　×　×　×　×　×　×　×　×

嘗て雜誌『大陸』を拮据經營して居た時、大正五年九月秋季號の題言に……。

節既に秋に入るも、殘暑猶ほ酷しく、而して綠葉は濃く、槿花は凋まず、凉を欲し倦を覺ゆること依然たり。されど叢間早く蟲聲の唧々を漏らし、風の音また夏のものならず、歐陽修の謂ゆる淅瀝以蕭颯たる秋の聲は、山よりし海よりし四邊に訪づる。その色未だ慘淡たらず、その氣未だ慓冽たらず、彼の凄々切々たるは旬餘を待たざるべからざるも、天高日晶、その容漸く淸明を加へ來らんとす。懶を去り、惰を排し沈思冥想以て緊張の心を把る、焉より將に可ならんとする也。

西羅馬の皇帝マーカス・オーレリアスの沈思錄の中に言はずや、人若し其の思ひを極めて閑寂なる境に置くことを得、而もその閑寂たるや、眞に能く心の落付きより出でたるものならん乎、世に人の胸中の如く

熱鬧黄塵の巷より脱却したる境地としては非ざるべし。蓋し沈思は秋において殊に可なり。菜根譚の一齣『夜深人靜、獨坐觀心、始覺妄窮而眞獨露、毎於此中得大機趣、既覺眞現而妄難逃、又於此中得大慚忸』と云ふもの、又秋において可なり。秋は哀傷的なるもそれ丈け冥想に可也。

秋は收穫の時季と言はる。而も其の收穫は獨り植物の上のみに止らず、物質のみに限らず、人の心にも亦自ら穫るところあり、穫るところ莫かる可らず。其の精神的收穫とは沈思して大機趣を得、冥想して大慚忸を得ると云ふ。精神上のグレシャムの方則を破り、雜草の如く瀰蔓せる閒思、雜慮、妄想、邪念を排し眞如、實相、菩提、良智の本來心を顯じて明鏡止水の如き本地の光明を爀灼たらしむる、秋に若くはなし秋は精神的にも慥に收穫の時なり。乞ふ之を閑却する勿れ。

と書いたが、實に秋は人を復活し、蘇生し、更に一新進境に入らしむる大切な時だ。

× × × × × × × × × ×

他に扶けられて此頃漸く『秋風秋雨獨掩門、感懐無限送黄昏、燈前試檢平生志、唯有文章報國恩』の一首を得た。未熟ではあるが僞りのない處だ。今の松山町の住居は秋に入つて益々佳、虫聲啣々叢間に起り、此の仲秋三五の天には、明月を坐乍らに眺め、爽味言ふべからずだつた。

× × × × × × × × × ×

× × × × × × × × × ×



若いお父さん

在奉天　傅源芳

雨は恐ろしい音を立てゝ硝子窓を叩き、それに時々雷鳴さへ加つて、一入淒愴な夜であつた。そして六疊の室には陰鬱な沈默が可成り永く續けられた。生れてまだ間もない嬰兒に乳を含ませながら婦人雜誌を默讀して居た妻のＭ子は思ひ出したやうに、

『私共が結婚してからモウ一年になりますが、結婚の當夜も今晩のやうに酷い雨でしたね』

Ｍ子と結婚したのは昨年の八月九日であつた。二人に採つて此の八月九日といふ日は永久に記念すべき最も印象の深い思ひ出の多い日である。

『左樣だ、全く早いものだ』

机に凭れ掛つて雜誌を耽讀して居たＴは簡單に這う應答した切りで一室は再び以前の沈默に還つた。外では烈しい雨が音を立てゝ降り續いて居る。

それから暫らくして、Ｔは讀んで居た雜誌を机上に伏せ、煙草に火を點じ、それを無意識にふかしながら

隙敷の上に頰杖をつき、今しも吸ひ込んだ煙草の煙を一時に吹き出し、大地に降りそゝぐ風雨の音をぢつと聞きつゝ、意中に浮べる當時の自分のことを思ふと共に、それからそれと深い聯想に陷るのであつた。勿論それは一年前の結婚のことに對する追憶である。

獨身生活から妻帶生活へと……二十六の年を迎へた彼には這うした人間としての變化があつた、と同時にそれに關聯して忽ち精神的にも、物質的にも。また社會的にも、可なり複雜した歷史を作り出したのである

彼は此の連想をフイルムの映畫が展開されるやうに次から次へと辿るのであつた。さうして最後には、彼自身が第三者の立場となつて、彼の家庭の創造に對し透明な理智的批判を試みた時

『根抵のない家庭の創造は寧ろ罪惡である』

と云ふ斷案を下した。謂ふところの根抵の有る無いは何をスタンダードとして批判したのであるか。夫れは勿論數字的や階級的に區分することは出來ないが、兎に角彼自身としての現在は生存的根抵が完成して居ないと觀察して居るから、這うした批判を下したのであらう。此の自己批判の下に、獨身時代における彼の理想とか目的とか云ふものゝ悉くが結婚てふ一事に依つて見事に裏切られてしまつて、其の結婚が極めて薄ッペラな戲曲的なものであつた事を是認せねばならなかつたのである。

彼は爾く是認する前に倘ほいろ〳〵と考へた。

『俺は現在〇〇〇〇と云ふ職業に係はつてゐる。物質萬能の今日、俺が精神的と藝術的とに活きる現在の

職業を撰んだのは、言ふ迄もなく人間味のある生存を欲求した結果である。その俺が今さら物質偏重の見に囚はれ、之がために苦慮したり懊悩したりするとは、何たる自家撞着であらう。少くとも俺の處世的信條は今少し崇高な精神を基調とした藝術味に富んだものでなくてはならぬ。俺は喰ふとか着るとか云ふ平凡な唯物主義の生存から超越した眞の人間味のある境遇に活きねばならぬ筈だ』

彼は幾度か這うした超越的心理に還元して間違つて居る自己を責めた。そして『生きると云ふ事は卽ち闘ひだ。現に生きんが爲めに闘つて居る。その闘ひの休みなき連續が人生だ。家庭生活とは卽ち烈しく血みどろになつて闘ふ事である』と云つた白村氏の處世觀を唯一の信條として、不敏ながら自分として有りつたけの力を發揮し、そして倒れるまで奮闘して見やう。そこに卽ち崇高な人間味がある。此の渾身の努力には必ず何物かの應酬が與へられやう。それから上は天命を待つのだ。『人事を盡して天命を待つ』。彼は之を處世の要諦として自己の完成に努めて見やうと云ふ決心と勇氣を起した事もあつた。

それと同時に妻に就いても『一家の主婦であるべき妻が小さく家庭に引籠つて行儀好くしてばかり居る時代は已に過ぎ去つた。女もまた男のやうに街頭に立つて働かねばならなくなつた。結婚は最早女の生涯の重大事件ではなくて單なる生活の一過程に過ぎなくなつた。職業と云ふものは人間の生活的義務であり又道徳である。生存と云ふ上から見れば男女の區別はない。遣る遣らぬは別として矢張り女も男と同じやうに街頭に立つて戰ふ丈けの覺悟と勇氣とがなくてはならない』

とTは斯んな事まで考へて妻に職業を强ひやうと考ね、或る夜、妻に向つて諷刺的に此の話をした。M子は意外に此の説に賛成して呉れた。TはM子の案外無雑作に承知して呉れたのを喜ぶと共に今さら自分の腑甲斐ない事、それからヨシ女の職業が生活的義務であり道徳であるにもせよ、繊弱い彼女を街頭の塵埃裡に立たせて働かせる事が如何にも氣の毒であると考へて、穴にでも這入りたいやうな氣がした。然も彼自身はM子と結婚を決行する時、『俺は僅か百圓足らずの收入ではあるが別に生活には困らない。子供が出來ても人並の教育は施せやう。獨身で殺伐な生活を送るよりは、假に俺が骨を碎き肉を削つて勞働の奴隷になつても妻を迎へ一家を構へて家庭的情愛が惠まれた以上、それで滿足だ』と云つた。それが今になつて妻のM子に共稼ぎを强ひられ得るか。さう言はれた義理さへない筈である。

『マア可いや、怎うにかなるさ、アハヽヽヽ』

彼は遂に淋しい笑ひに紛らして了つたが、內心は笑ひにまぎらす程に悠長なものではなかつた。骨を刺すやうな煩悶と苦惱とに總ての我を沒して居た。

月末に俸給袋を手にする度毎に彼はこれと殆んど同じやうな煩悶を繰返へした。そして謂ゆる根抵のある家庭を創造すべく幾たびか奮起した彼の身に、些の向上もなければ進歩もなく、前途に何等の光明をも見出して居ないことを感じた時、恰度炎々として燃へつゝある火の上に立つて居るやうな烈しい焦慮に襲はれた夫れと同時に妻のM子の腹が日を重ぬる度に膨れて行くのを見て『何と云ふ皮肉な對照であらうか』と思つ

た。妻のM子はTと結婚した翌月既に懷姙したのであつた。妻の懷姙は勿論Tに取つて無上の喜悅であつた結婚の當時彼が何よりも先に頭に浮んだのは子供といふ事であつた。子の無い夫婦、子の無い家庭、それ程に荒涼な淋しい人生はあるまい。夫婦の間に子を儲けるのは天命であり又人間としての義務でもある。彼は今や其の人間としての最大義務の一端を果しつゝあることを意識した時に、言ひ知れぬ誇りとその未成の子供に對する熱烈的な愛情とを感じた。而もその反面には自分には背負ひ切れない『大なる責任』を與へられたやうな氣がした。そして次には現在の生活にさへ不安がちな自分が、更に此の一大責任を負はされて果して克くそれを完うし得るであらうか、と云ふ一種の憂懼を感ぜずには居られなかつた。

然し徒らに憂懼するのみでは濟まない。彼れは愈々眞劍になつた。そして友人の某と或る事業を計畫したそれは現在彼が携はつて居る職業に類似した仕事で、現在の薄給生活から自己完成の新生面を開拓するには適はしい事業であつたのみならず、充分の成算もあつたのだ。闇夜に光明を得た彼は此の事業に依つて現在の儚ない處世境から眞摯な自己完成を期し得る境地へ進まうと懸命に運動した。處が許可事業の悲しさで其筋から許可されなかつた。漸く輝かんとした光明は再び闇黑に包まれて了つた。

之れと前後してM子は長女を安產した。丸ぽちやの色の白い目のくつきりとした可愛い兒である。此の子一人を分娩した爲めに產料、產衣、蒲團、宮詣りの子供の衣裳、それから名附祝ひだ、三十三日のお宮詣りだ、友人からの祝儀への返禮だと、次から次へと可なり纏つた金を費した。

此等の金は悉くTの父から恵まれたので、人に迷惑を掛けずに兎に角初見として恥しくない丈けの事が出來た。それで當面の問題は解決した。愈々『若いお父さんになつたのだ』と意識した時にTは云ひ知れない喜悦と優越を感じた。生活の悩みとか、人としての子に對する責任とか、そんなことは一切打忘れて了つて唯だ可愛い長女の日増に太つて行くのを何よりも樂しみに日を送つた。

勤め先から歸宅すると洋服も脱がずに先づ子供を抱く。その刹那彼の全身には愛情の血が充實する。そして無意識な子供と自分との間に熱烈的な父子の愛情が交錯して居ることを判然と意識する。Tは這うして勤め先から歸ると安々と眠つて居る時でさへ搖り起して抱かずには居らない程に子煩悩となつた。兩親が健康な丈けに子供も無事に成長して近頃では微笑さへ湛へるやうになつた。

處がTは近頃又た妙に沈み出した。彼は子供に對する愛が濃厚になるに伴ふて子供の將來に對する事を考へる樣になつた。暫く彼の脳裡から遠ざけられて居た『根抵のある家庭の創造』と云ふ責任感にも襲はれた『若いお父さんだ事』と人から云はれるのが何だか皮肉のやうにも思はれた。

一年前の結婚の當夜と同じやうな雨は、一しきり盆を覆した樣に喧噪を極めて居たが、やがてポタリ〳〵と屋根の滴に驟雨の後の靜けさを偲ばせる。時計はもう十二時に間近である。先刻まで寢言を云つて居たさと思つた子供は慈母と枕を並べて早や平和な眠りに入つて居た。

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會其の他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名並に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に拾回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以てこれに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

●朝鮮に於ける支那人……朝鮮總督府

●露國勞農政府組織圖表……滿鐵哈爾賓事務所調査課

●黑龍江省(下卷)……

●亞細亞露西亞の國土と產業(上卷、國土篇)……

●北支那貿易年報(下篇、直隷省及び山東省の部)……

以上……滿鐵庶務部調査課

●北海道帝國大學一覽……北海道帝國大學

◉滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、泰東日報、新生活、日滿通信、滿蒙、讀書會雜誌新天地、海友、滿蒙實業彙報、調査時報、滿洲建築協會雜誌、滿洲公論、大陸、日華之貿易、滿洲經濟時報、關東新聞、聖德會會報、(以上は大連)◉大陸日日新聞、奉天新聞、奉天毎日新聞、滿蒙經濟新報(以上は奉天)◉調查彙報(長春商議所)◉大乘(上海)◉青島新報(青島)、◉調查彙報(朝鮮總督府)、◉朝鮮地方行政、京城日報、朝鮮新聞、朝鮮及朝鮮人朝鮮及滿洲(以上京城)◉釜山日報(釜山)◉平南毎日新聞、平壤商業會議所月報(以上平壤)◉臺灣時報、臺法月報(以上臺灣)◉臨時產業調査局資料、滿鐵東亞經濟調查局經濟資料、東洋、支那、東京商業會議所所報、愛國婦人、人道、大東公論、週間日本(以上東京)◉紡績界(大阪)同志社時報(京都)◉東亞經濟研究(山口)◉福岡日日新聞(福岡)

毎月一回發行

定價表

普通號六拾錢、特別號七拾錢

册數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十三年十月一日發行

發行人　山田武吉

編輯人　大內四郎

印刷人　太田信三

印刷所　大連市大山通　小林又七支店

發行所(電話五四二六番)　滿洲社會事業研究會

大連市松山町五番地七號　振替口座大連一二三九番

輸出入、倉庫、土木、建築、保險及諸代理

大連市山縣通一六三

FC

福昌公司

電話代表番號 七一七一番

振替貯金口座大連一〇六〇番

出張所

大阪、神戸、青島、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、錦州、其他

倉庫部

一般倉庫業務取扱

大連市摩耶町十一番地
電話六〇六三番

保險

大阪海上火災、日本共立火災、豐國火災ゼノースブリチツシユ、エンド、マーカンタイル各保險會社代理店